

将来の計画：学校の統合

2023年2月9日

発表者：アート・ジャービス博士、暫定教育長
メリッサ・デヴィータ、副教育長
エヴァ・コリンズ、副教育長



目次

概要	4
提言	5
レコメンデーション データ：北部地域	7
レコメンデーション データ：中西部地域	9
レコメンデーション データ：南部地域	11
検討されたオプション	13
地域別の生徒登録数の分析	14
北部地域	16
北部地域：シナリオA(推奨)	18
北部地域：シナリオB	20
中西部地域	22
中西部地域：シナリオC	24
中西部地域：シナリオD(推奨)	26
南部地域	29
南部地域：シナリオE(推奨)	31
南部地域：シナリオF	32
南部地域：シナリオG	34
分析	36
入学者数の予測	37
他の施設・プログラムへの影響	39
生徒とスタッフの移動	39
財務上の考慮事項	41
施設利用	43
安全、健康、および火災規制	43
追加分析	45
登録マップ	47
統合のクライテリア	48
小学校の評価基準	49
小学校人口統計	51
検討されたその他のオプション	52

クリティカルクライテリア分析	53
エンゲージメント	55
コミュニティとのエンゲージメント	56
フィードバックの概要	58
今後の予定	59
学校 統合 プロセスの タイムライン と 継続的なエンゲージメント	60
移行の計画と履行	59
付録	61
背景情報	62
クリティカルクライテリアメトリックス	67
地域別の追加学校データ	70
移行の計画	81
RCW 28A.335.020 学校 閉鎖	84
ポリシー番号 6883 施設閉鎖	87

概要

ベルビュー学区の入学者は過去3年間で1,552人減少しており、今後も減少し続けると予測されています。入学者数の減少が学区に経済的影響を及ぼし、学校レベルでの入学者数が非常に少ないと、リソースやクラス構成の制限などの教育上の課題が生じます。生徒が受ける教育の質を維持し、継続的に改善するために、ベルビュー学区はいくつかの調整を行う必要があります。私たちは、3つの主要なアプローチでこの問題に取り組んでいます。

1. 生徒登録数の増加
2. 学校の統合
3. 支出の調整

このレポートでは、学校の統合に焦点を当てます。

提言

提言

- **北部地域:**アードモアをベネット、チェリークレスト、 シャーウッドフォレストと統合
- **南部地域:**イーストゲートをスピリットリッジとサマセットと統合し、スピリットリッジのアドバンスラーニングをウッドリッジに移転
- **中西部地域:**ウィルバートンをクライドヒルとエナタイと統合

小学校	10/03/22	2023-24 年の予 測	調整後 予測 2023-24
アードモア	296	293	-
ベネット	436	436	511
チェリークレスト	518	523	605
クライドヒル	406	370	512
デジタルディスカバリ(K-6)	59	60	60
イーストゲート	278	258	-
エナタイ	361	336	456
ジンメイ	438	440	440
レイクヒルズ	400	369	369
メダイナ	448	455	455
ニューポートハイツ	382	358	358
ファントムレイク	344	341	341
プエスタ・デル・ソル	450	440	440
シャーウッドフォレスト	341	320	519
サマセット	625	651	728
スピリットリッジ	583	566	531
スティーブンソン	461	420	420
ウィルバートン	350	333	-
ウッドリッジ	298	269	485
ウィルバートン・アウト・オブ・エリア-相 談対象			71

レコメンデーション データ: 北部地域

アードモアをベネット、チェリークレスト、シャーウッドフォレストと統合

主な 考慮事項

- アードモアの登録人数はシャーウッドフォレストよりも速く減少しています
- パシフィックプログラムおよび二言語 プログラムの参加生徒への混乱を最小限に抑えます
- 多くのアードモアの学生は、オープントランスファープロセスを通じてベネット に登録します
- アードモアの生徒に2023-24学年度の優先登録を提供し、彼らの関心と受け入れ校の登録数を勘案し、段階的な移行を検討します

アードモアからベネット への予測登録2023-24		
ベネット2023-24	アードモア予測 ベネットへ	複合登録
467	44	511

アードモアからチェリー クレストへ 予測登録2023-24		
チェリーク レスト 2023-24年 度	アードモア予測 チェリークレス トへ	複合 登録
523	82	605

アードモアからシャーウッドフ ォレストへの予測登録2023-24		
シャーウッド フォレスト 2023-24	アードモア予測 シャーウッドフォ レストへ	複合 登録
320	167**	487

*注:これらの人数には、オープントランスファーリクエスト を処理する前のすべての生徒が含まれます。

**注:オーバーレイク 駅の建設 が完了すると 、 さらに40~50 人の生徒が追加されます

学校の 定員

学校	教室数	収容定員	新規 登録
アードモア	21	504	
ベネット	31	744	511
チェリークレスト	25	600	605
シャーウッドフォ レスト	23	552	487

北部地域の仮通学地域



Ardmore Elementary School Attendance Area (2019)

レコメンデーション データ: 中西部地域

ウィルバートンをクライドヒルとエナタイと統合

主な 考慮事項

- エナタイとウィルバートンはどちらもインクルーシブ プラクティススクールであり、特殊支援教育を受ける生徒にインクルーシブモデルを提供しています
- エナタイとクライドヒルは、ウィルバートン開校する以前の通学地域を取り戻します
- ウィルバートンの予測登録には、通学地域に住む 262人の生徒のみが含まれています

ウィルバートンからクライドヒルへの予測登録2023-24		
クライドヒル 2023-24	ウィルバートン予測 クライドヒルへ	複合登録
370	142	512

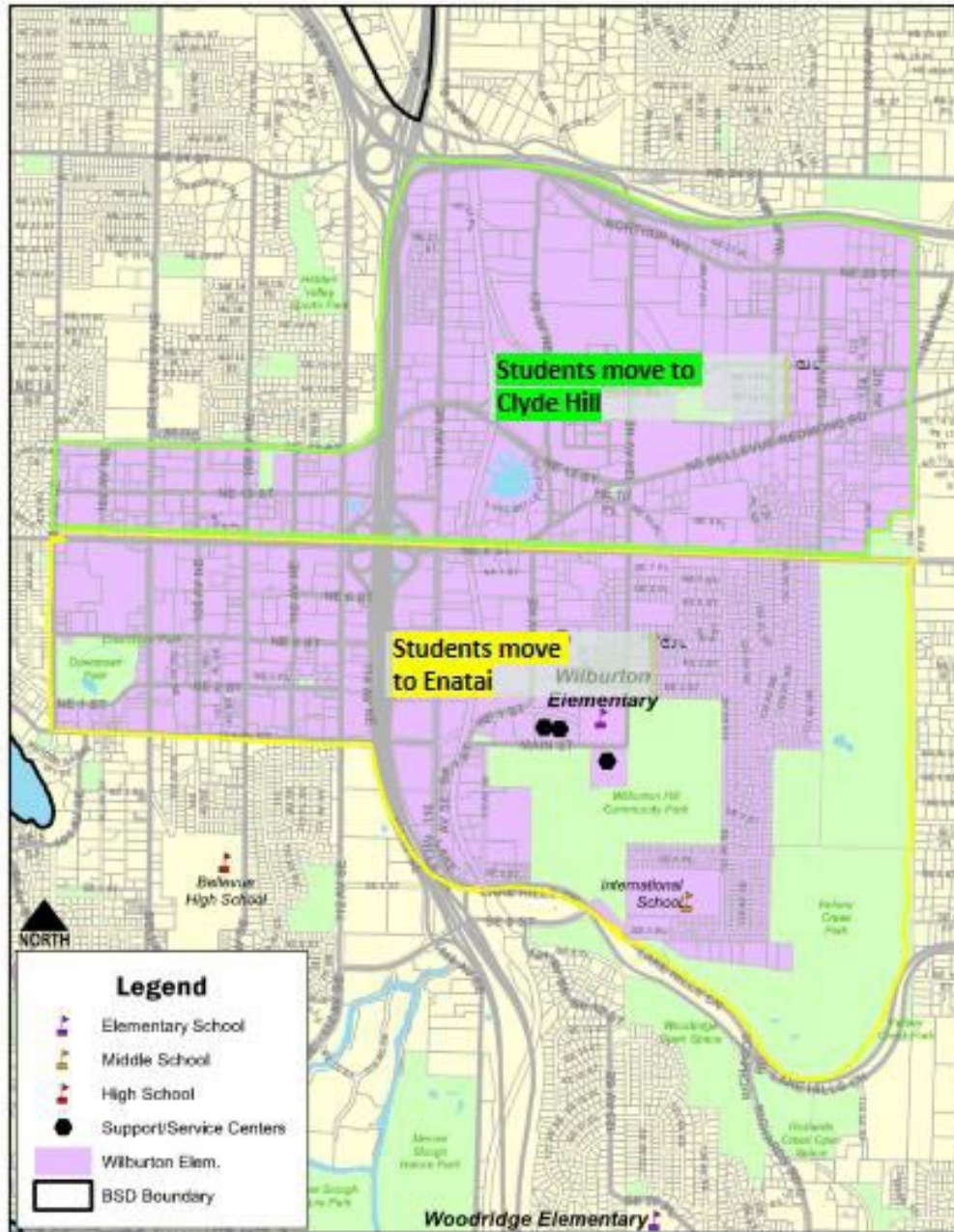
ウィルバートンからエナタイへの予測登録2023-24		
エナタイ2023-24	ウィルバートン予測 エナタイへ	複合登録
336	120	456

*注: 通学地域外に住んでいるウィルバートンの生徒は71人おり、登録前に意見を聞きます

学校の 定員

学校	教室数	収容定員	新規登録
クライドヒル	27	648	512
エナタイ	25	600	456
ウィルバートン	31	744	

中西部地域の 仮通学地域



Wilburton Elementary School Attendance Area (2019)

レコメンデーション データ: 南部地域

イーストゲートをスピリットリッジとサマセットと統合
 スピリットリッジアドバンストラナーニング(AL)プログラムをウッドリッジに移転

主な考慮事項

- イーストゲートの登録数は急速に減少しています
- アドバンストラナーニングに学区の中心的な場所を提供します
- サマセットは2023-24年に大規模になります、将来の予測される減少により、サマセットへの登録数は減少していきます
- オリンピックプログラムのサービスを受けている生徒に最適な配置を決定します(必要に応じて、スピリットリッジに移動するか、新しい場所を検討します)

イーストゲートからスピリットリッジへ 予測登録2023-24		
スピリットリッジ2023-24	イーストゲート予測 スピリットリッジへ	複合登録
350*	181	531

イーストゲートからサマセットへ 予測登録2023-24		
サマセット2023-24	イーストゲート予測 サマセットへ	複合登録
651	77	728

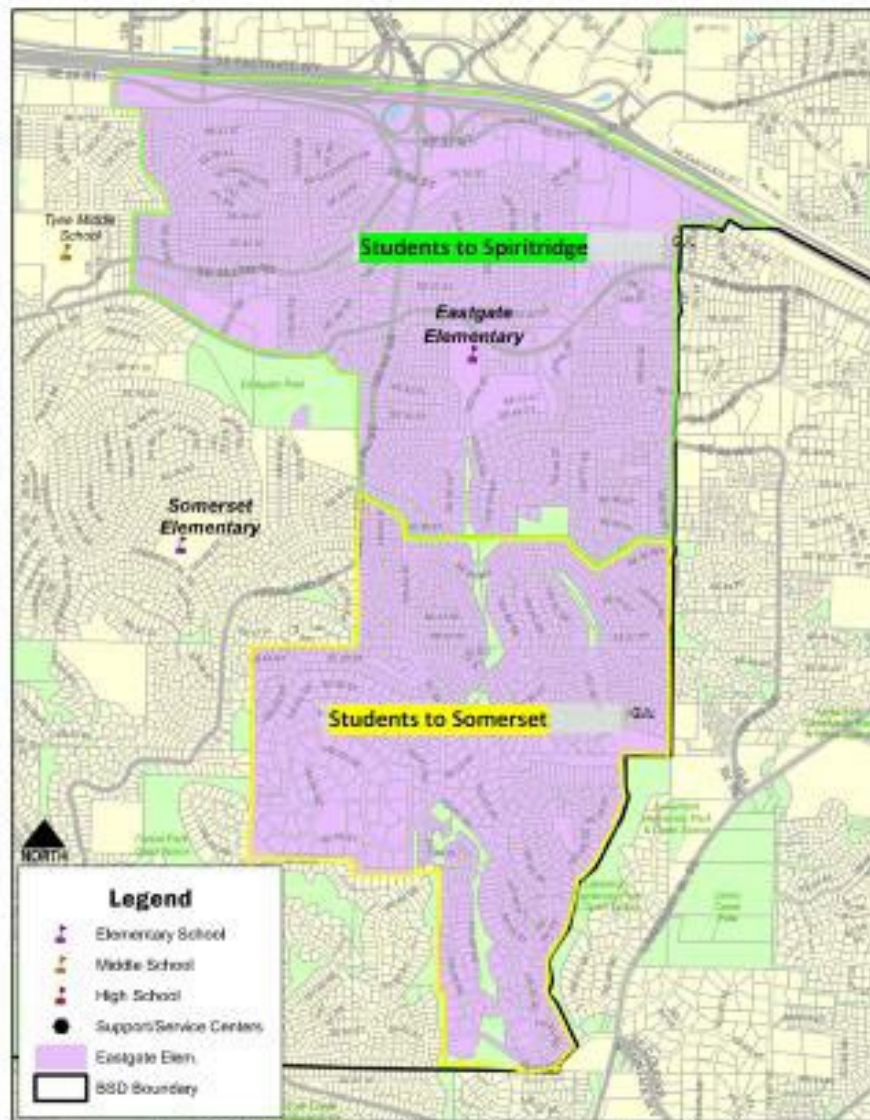
*スピリットリッジ予測 はアドバンストラナーニング以外

スピリットリッジアドバンストラナーニングからウッドリッジへ 予測登録2023-24		
ウッドリッジ 2023-24年度	スピリットリッジ AL 予測 ウッドリッジへ	複合登録
269	216	485

学校の定員と新規入学者数

学校	教室数	収容定員	新規登録
イーストゲート	23	552	
サマセット	29 + 3ポータブル	696/768	728
スピリットリッジ	24	576	531
ウッドリッジ	23	552	485

南部 地域の 仮通学地域

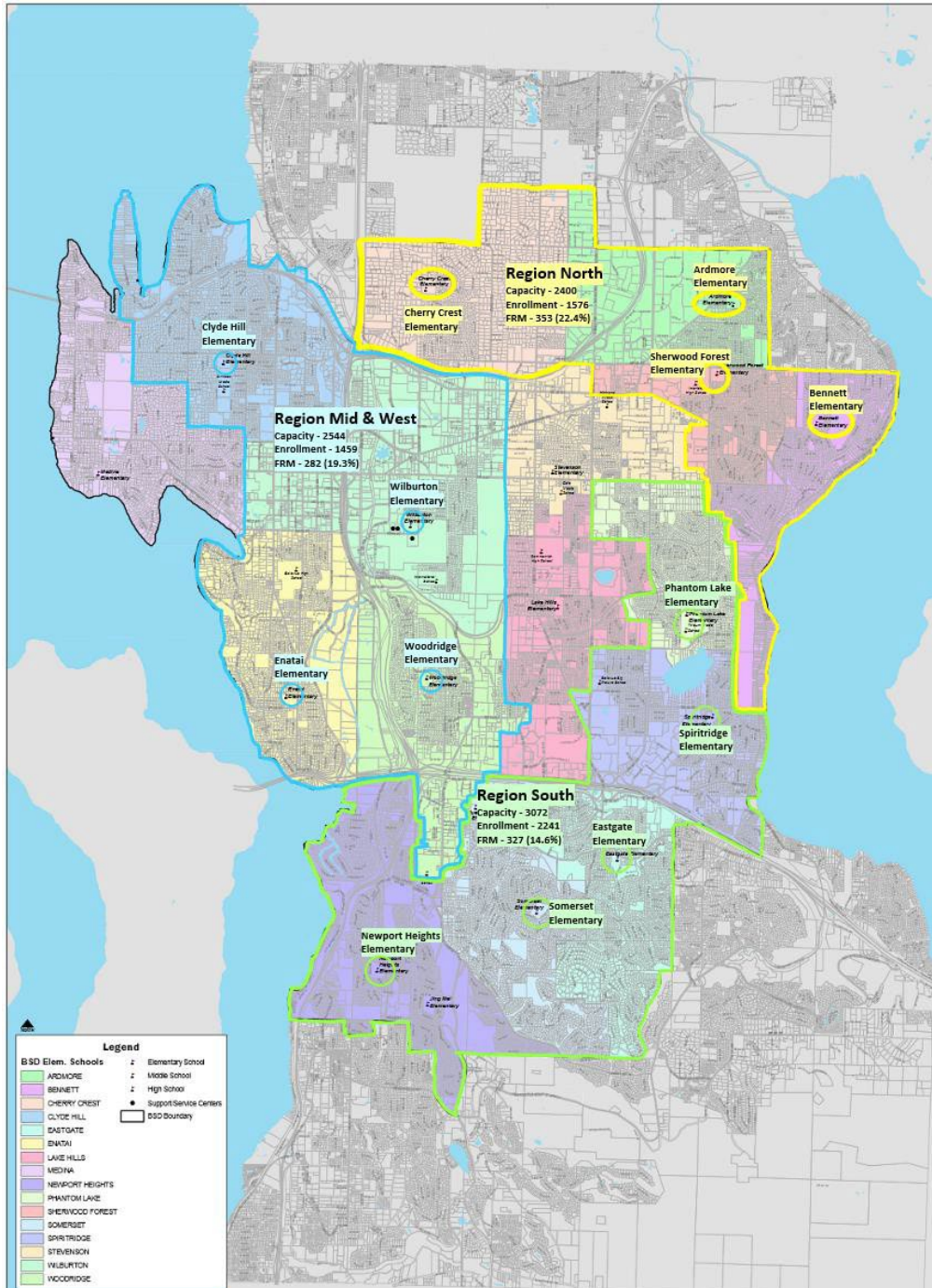


Eastgate Elementary School Attendance Area (2019)

検討された オプション

地域別の生徒登録数の分析

小学校の統合を検討するときの分析は、統合される学校間の生徒の移動距離に焦点を合わせました。3つのコア地域は、妥当な移動距離内の学校の収容人数と登録人数に基づいて特定されました。



北部地域:アードモア、ベネット、チェリークレスト、シャーウッドフォレスト小学校：
これらの学校の全体的な収容人数は2,400人で、現在の入学者は1,576人で、824席の空席
があります。各学校は、潜在的な送り出し学校と潜在的な受け入れ学校の両方として分
析されました。最終的にどの学校を統合したとしても、4つの学校すべてが生徒の送り出
し、受け入れによって影響を受ける可能性があります。

中西部地域:クライドヒル、エナタイ、ウィルバートン、ウッドリッジ小学校：
これらの学校の全体的な収容人数は2,544人で、現在の入学者は1,459人で、1,085席の空席
があります。各学校は、潜在的な送り出し学校と潜在的な受け入れ学校の両方として分
析されました。最終的にどの学校を統合したとしても、4つの学校すべてが生徒の送り
出し、受け入れによって影響を受ける可能性があります。

南部地域: イーストゲート、ニューポートハイツ、ファントムレイク、サマセット、スピ
リットリッジ小学校：
これらの学校の合計 収容人数 は3,072人で、現在の入学者は2,241人で、831席の空席があ
ります。各学校は、潜在的な送り出し学校と潜在的な受け入れ学校の両方として分析さ
れました。最終的にどの学校を統合しても、4つの学校すべてが生徒の送り出し、受け入
れによって影響を受ける可能性があります。

いくつかのシナリオが、学区の地域ごとに策定されました。各地域について、一般教育
、アドバンスラーニング、特殊支援教育、および二言語プログラムの生徒への影響を
含むシナリオが議論および分析されました。18の小学校のうち13校が分析に含まれま
した。各地域の学校は、生徒の送り出しまたは受け入れによって影響を受ける可能性があ
ります。この分析に含まれていない学校は、レイクヒルズ、メダイナ、スティーブンス
ンと、チョイススクールであるジンメイとプエスタデルソルでした。メダイナは学区の
外縁にあり、生徒の送迎にかなりの距離を移動する必要があるため、含まれませんでした。
レイクヒルズとスティーブンスンは、無料の夏の食事プログラムや追加の助成金リ
ソースの資格などのプログラムへの潜在的な影響のために考慮されませんでした。プエ
スタデルソルは、2022年12月に新しい建物に引っ越したため、含まれていません。また
、ジンメイとプエスタデルソルはどちらも順番待ちリストのある非常に人気のあるプ
ログラムであり、登録数の減少による大きな影響を受けていません。

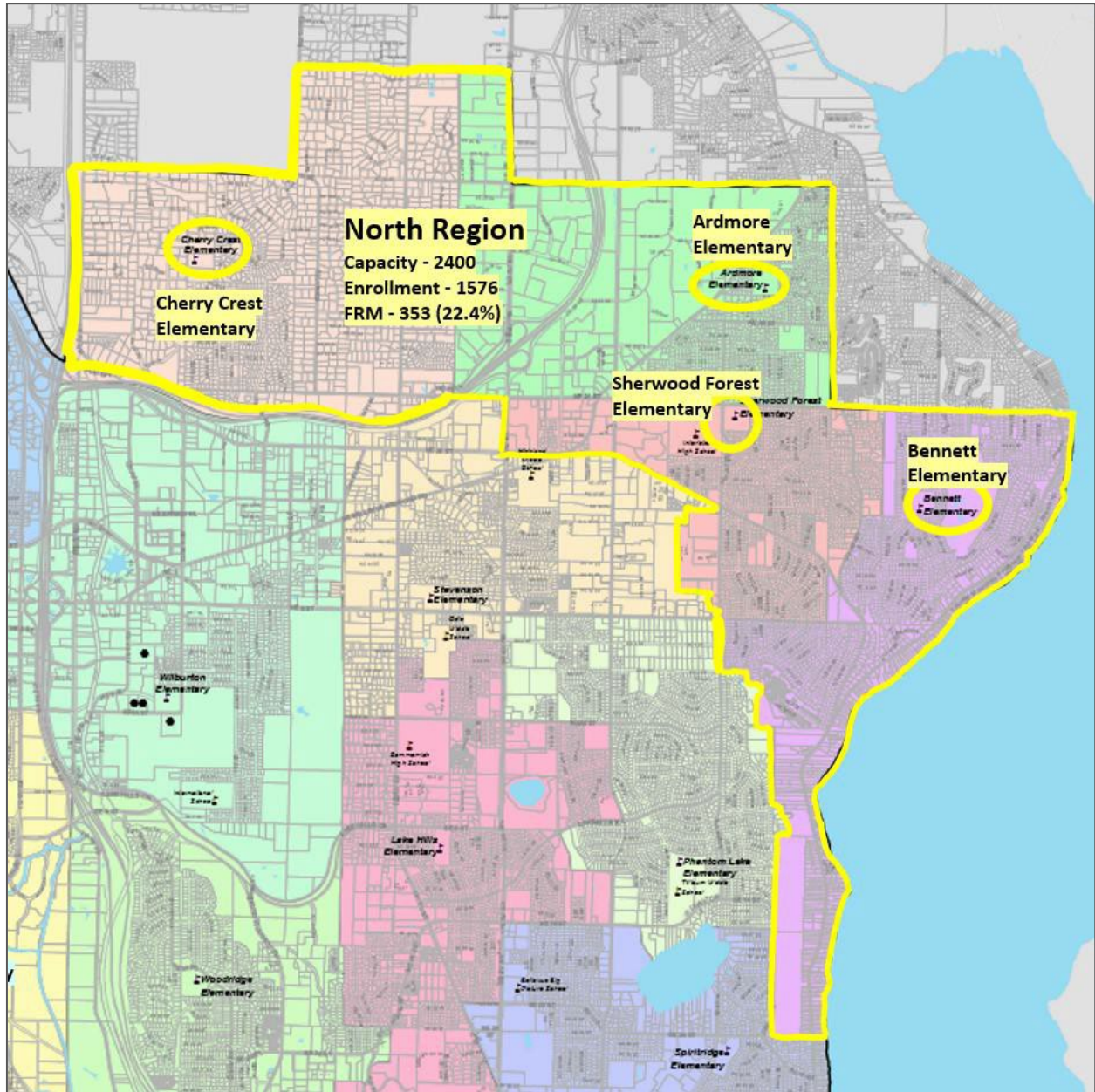
統合された学校で2023-24年の登録人数は高くなりますが、登録人数は時間の経過ととも
に地区全体で減少し続けます。

北部 地域

検討されたシナリオ

地域: 北部 地域

学校: アードモア、ベネット、チェリークレスト、シャーウッドフォレスト



検討されたシナリオ

北部 地域: シナリオ A (推奨)

アードモアをシャーウッドフォレスト、ベネット、チェリークレストと統合

アードモアからベネットへの予測登録2023-24		
ベネット2023-24	アードモア予測 ベネットへ	複合登録
467	44	511

アードモアからチェリークレストへの予測登録2023-24		
チェリークレスト 2023-24年 度	アードモア予測 チェリークレストへ	複合登録
523	82	605

アードモアからシャーウッドフォレストへの予測登録2023-24		
シャーウッド フォレスト 2023-24	アードモア予測 シャーウッドフォ レストへ	複合登録
320	167**	487

*注:オーバーレイク駅の建設が完了すると、さらに40~50人の学生が追加されます

学校の定員

学校	教室数	収容定員	新規登録
アードモア	21	504	
ベネット	31	744	511
チェリークレスト	25	600	605
シャーウッドフォレスト	23	552	487

オープントランスファー リクエスト - 2023/2024

学校	オープントラン スファーアウト	オープントラン スファーイン
アードモア	88	0
ベネット	15	100
チェリークレスト	7	220
シャーウッドフォレスト	32	2

メリット :

学校間の距離

アードモア、ベネット、シャーウッドフォレストはすぐ近くにありますが、このシナリオは、主にアードモアとシャーウッドフォレストのコミュニティを統合するものです。2つの学校間の距離は1マイルです。シャーウッドフォレストの近くにはメトロバス路線があり、公共交通機関を利用する家族が簡単にアクセスできます。

クラス 構成

来年のアードモアへの登録人数は205人という低い人数になるとも予想されており、複数の**2 学年合同クラス**が必要です。アードモアをベネット、チェリークレスト、シャーウッドフォレストを組み合わせることで、**2 学年合同クラス**の必要性が減少します。

特殊支援 教育

シャーウッドフォレストには、ベルビュー全体に住む**生徒への特殊支援教育**を提供するパシフィックプログラムがあります。パシフィックプログラムは長年にわたって シャーウッドフォレストのコミュニティの一部であり、建物はインクルージョンを最大化するために**デザイン**されています。建物は、**パシフィックプログラムを受ける生徒**の特定のニーズを満たすように設計されており、**パシフィックプログラム**が移転された場合、これらの構造を複製する必要があります。

二 言語プログラム

スペイン語の二言語 プログラムは、シャーウッドフォレストのコミュニティにサービスを提供することを目的として、**キンダーガーデン**の1つのクラス から始まりました。このプログラムは翌年、レイクヒルズとスティーブンソンで複製されました。シャーウッドフォレストの**二言語**プログラムを維持することで、このプログラムの中断を最小限に抑えることができます。さらに、現在のアードモアの**生徒は**、このプログラムへの**アクセスの機会**を大きくすることができます。

オープン トランスファー

この**提言**では、**44人**のアードモアの**生徒**がベネットコミュニティと**統合**します。アードモアの**通学地域**に住む**38人**の**生徒**が現在ベネットに通っており、**22人**が**2023-24**学年度にアードモアから 転校することを要求していることは注目に値します。この**提言**により、新しいベネットコミュニティの**通学地域**内に住む学生は、ウォーキングゾーンの外にある場合、**バス通学**の対象となります。

チェリークレストは、歴史的に**キンダーガーデン**から**通学地域外**の生徒を受け入れる**収容能力**を持っていました。次の学年度には、アードモアからチェリークレストへの**57のオープン**トランスファーリクエストがあります。新しい**チェリークレスト**の**通学地域内**に住む**生徒**は、ウォーキングゾーンの外にある場合、**バス通学**の対象となります。

課題 と 考慮事項:

施設転用

アードモアの場所は、アクセスしにくく、転用に理想的ではありません。学校は地区の最北端の**地域**にあります。ただし、地区内外の 学生を引き付けるための新しいプログラム に施設を利用することを検討する場合があります。

収容人数

チェリークレストはこの**提言**で**収容定員**がかなりいっぱい になります。将来の入学者数の減少に伴い、これは時間の経過とともに緩和されます。

検討されたシナリオ

北部 地域: シナリオ B

シャーウッドフォレストをアードモアとベネットと統合する

シャーウッドフォレストからアードモアへの予測登録2023-24			シャーウッドフォレストからベネットへの予測登録2023-24		
アードモア 2023-24	シャーウッドフォレスト予測 アードモアへ 2023-24	複合登録	ベネット2023-24	シャーウッドフォレスト予測 ベネットへ 2023-24	複合登録
293	161	454	468	160	628

学校の定員

学校	教室数	収容定員	新規登録
アードモア	21	504	454
ベネット	31	744	628
シャーウッドフォレスト	23	552	

オープントランスファーリクエスト - 2023/2024

学校	オープントランスファーアウト	オープントランスファーイン
アードモア	88	0
ベネット	15	100
シャーウッドフォレスト	32	2

メリット :

学校間距離

これらの3つの学校は、近接しており、アードモアとシャーウッド間は、わずか1マイルしか離れていません。

施設転用

シャーウッドフォレストの場所は、公共交通機関と高校に近いことを考えると、施設を再利用する機会を提供します。

オープントランスファー

この提案では、160人のシャーウッドフォレストの学生がベネットコミュニティと統合します。シャーウッドフォレスト通学地域に住む39人の学生が現在ベネットに通っており、

2023-24学年度は、25人がシャーウッドフォレスト からベネットに転校することを要求していることは注目に値します。この提案により、新しいベネットコミュニティの通学地域内に住む 学生は、ウォーキングゾーンの外にある場合、バス通学の対象となります。

課題：

公共交通機関 への距離

アードモアは住宅地にあり、シャーウッドフォレストよりも公共交通機関へのアクセスが困難です。これは、公共交通機関に依存している一部の家族にとって課題となる可能性があります。アードモアは 最寄りのバス停 から0.9マイルで、シャーウッドフォレストはたった 0.2 マイルです。

特殊 支援教育

シャーウッドフォレストには、ベルビュー全体に住む生徒に特殊支援教育を提供するパシフィックプログラムがあります。パシフィックプログラムは、長年にわたってシャーウッドフォレストコミュニティの一部であり、建物はインクルージョンを最大化するように意図的にデザインされています。建物は、パシフィックプログラムを受ける生徒の特定のニーズを満たすように設計されており、パシフィックプログラムがアードモアまたは他の学校に移転された場合、これらの構造を複製する必要があります。さらに、パシフィックプログラを受けている生徒は、インターレイク高校に入学するとシャーウッドフォレストでボランティアをするために戻ってくることがよくあります。インターレイクとシャーウッドフォレストは通りを隔てて向かい側にあり、生徒は簡単にアクセスできます。

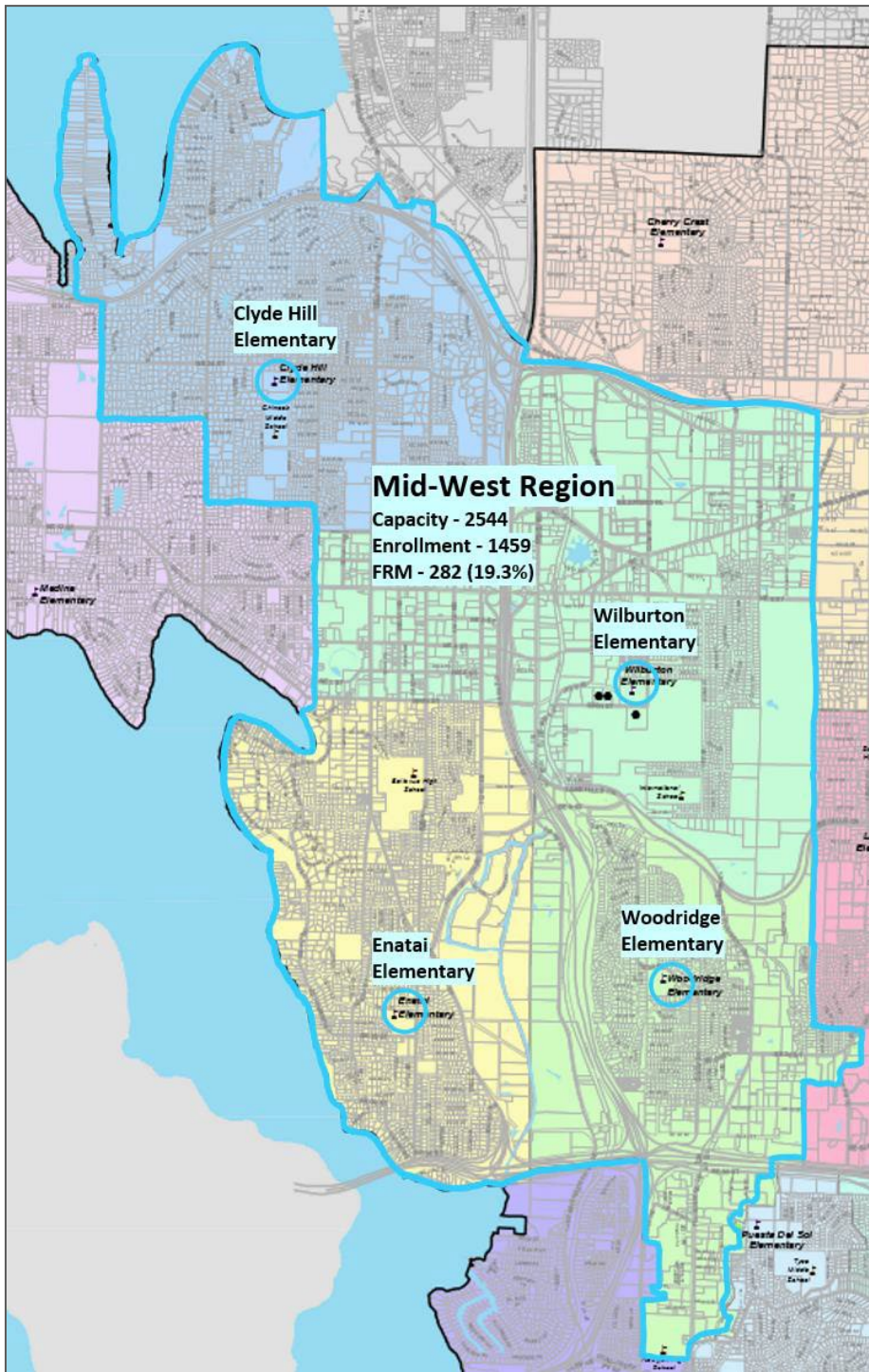
二言語プログラム

スペイン語 二言語プログラムは、現在のシャーウッドフォレストの建物が再利用された場合、アードモアまたは別の学校 に移動する 必要があります。

中西部地域

地域: 中西部

学校: クライドヒル、エナタイ、ウィルバートン、ウッドリッジ



検討されたシナリオ

中西部 地域: シナリオ C

ウッドリッジをエナタイと統合する

ウッドリッジから エナタイへの予測 登録 2023-24		
エナタイ 2023-24	ウッドリッジ 予測 エナタイへ	複合 登録
336	269	605

学校の 定員

学校	教室数	収容定員	新規 登録
エナタイ	25	600	605
ウッドリッジ	23	552	

オープントランスファーリクエスト – 2023/2024

学校	オープン トランスファー アウト	オープントランスファー イン
エナタイ	15	4
ウッドリッジ	12	4

メリット :

施設の収容人数と生徒をまとめる

エナタイはウッドリッジよりも**収容人数**が大きい。エナタイはウッドリッジのすべての生徒を吸収できるため、ウッドリッジの生徒とスタッフを複数の学校に分割する必要がなくなります。

特殊 支援教育

エナタイは、元々のインクルーシブプラクティススクールの1つです。そのため、教師はインクルーシブな実践に関する重要なトレーニングを受けており、学校はインクルーシブへの深い信念と文化を発展させてきました。

施設転用:

ウッドリッジは**学区**の中心部に位置し、**学区全体**の生徒にサービスを提供するプログラムに使用できます。I-90とI-405から簡単にアクセスできます。

課題 と 考慮事項:

特殊 支援教育

ウッドリッジはカスケードプログラムを提供しており、現在**16人**の学生に特殊教育を提供しています。この提案では、プログラムは エナタイまたは別の学校 に移転する必要があります。

移転された学校の一般教育の教師は、カスケードプログラムのサービスを受ける生徒のためにインクルージョンの実践に関するトレーニングを必要とするかもしれません。

学校間距離

ウッドリッジとエナタイは2.6マイル離れた場所にあります。エナタイへの合理的なルートは2つあり、**2校間の移動時間は通常10分以下**です。ただし、コミュニティはI-405高速道路によって分割されており、これはしばしば**心理的な仕切り**と見なされます。

注:この提案により、I-90の南に住む**ウッドリッジの生徒**をニューポートハイツに移動することを検討する場合があります。

検討されたシナリオ

中西部地域:提案D(推奨)

ウィルバートンの学生をクライドヒルとエナタイに統合する

ウィルバートンからクライドヒルへ予測登録2023-24			ウィルバートンからエナタイへ予測登録2023-24		
クライドヒル 2023-24	ウィルバートン予測 クライドヒルへ	複合登録	エナタイ2023- 24	ウィルバートン 予測 エナタイへ	複合登録
370	142	512	336	120	456

学校の定員

学校	教室数	収容定員	新規登録
クライドヒル	27	648	512
エナタイ	25	600	456
ウィルバートン	31	744	

オープントランスファー リクエスト - 2023/2024

学校	オープン トランスファー アウト	オープントランスファーイン
クライドヒル	35	38
エナタイ	15	4
ウィルバートン	70	11

注:71人のウィルバートンの生徒は通学地域に住んでおらず、上記の数には含まれていません。これらの生徒は、通う学校を選択するか、近所の学校に戻ることができます。

メリット :

通学地域

ウィルバートンは、ベルビュー学区の生徒登録人数最大の時期に開校しました。ウィルバートンの通学地域は、クライドヒル、エナタイ、ウッドリッジ3校の通学地域から別れました。ウィルバートン開校以前の通学地域境界に戻すことで、生徒を元のコミュニティに戻すことができます。

施設転用

ウィルバートンの場所は、その中心的な場所と公共交通機関への近さを考えると、施設を再利用する機会を提供します。

課題と考慮事項：

特殊支援教育

エナタイと同様に、ウィルバートンは**元々**のインクルーシブプラクティススクールの1つです。そのため、教師はインクルーシブな実践に関する重要なトレーニングを受けており、学校はインクルーシブさの深い信念と文化を発展させてきました。クライドヒルのスタッフは、インクルーシブの実践に関する追加のトレーニングが必要になる場合があります。

テクノロジーフォーカス

ウィルバートンはマイクロソフトとのパートナーシップを確立し、**学区**のテクノロジー統合のための**最先端を行くシンボル**として機能しています。初等教育コンピュータサイエンスはウィルバートンで最初に導入され、すべての教室の教師はコンピュータサイエンスをコンテンツ領域に統合できるように訓練されています。この**提案**を選択した場合、コンピュータサイエンスの**コンテンツ領域への統合**のための専門能力開発を提供する計画を開発し、**実践**する必要があります。

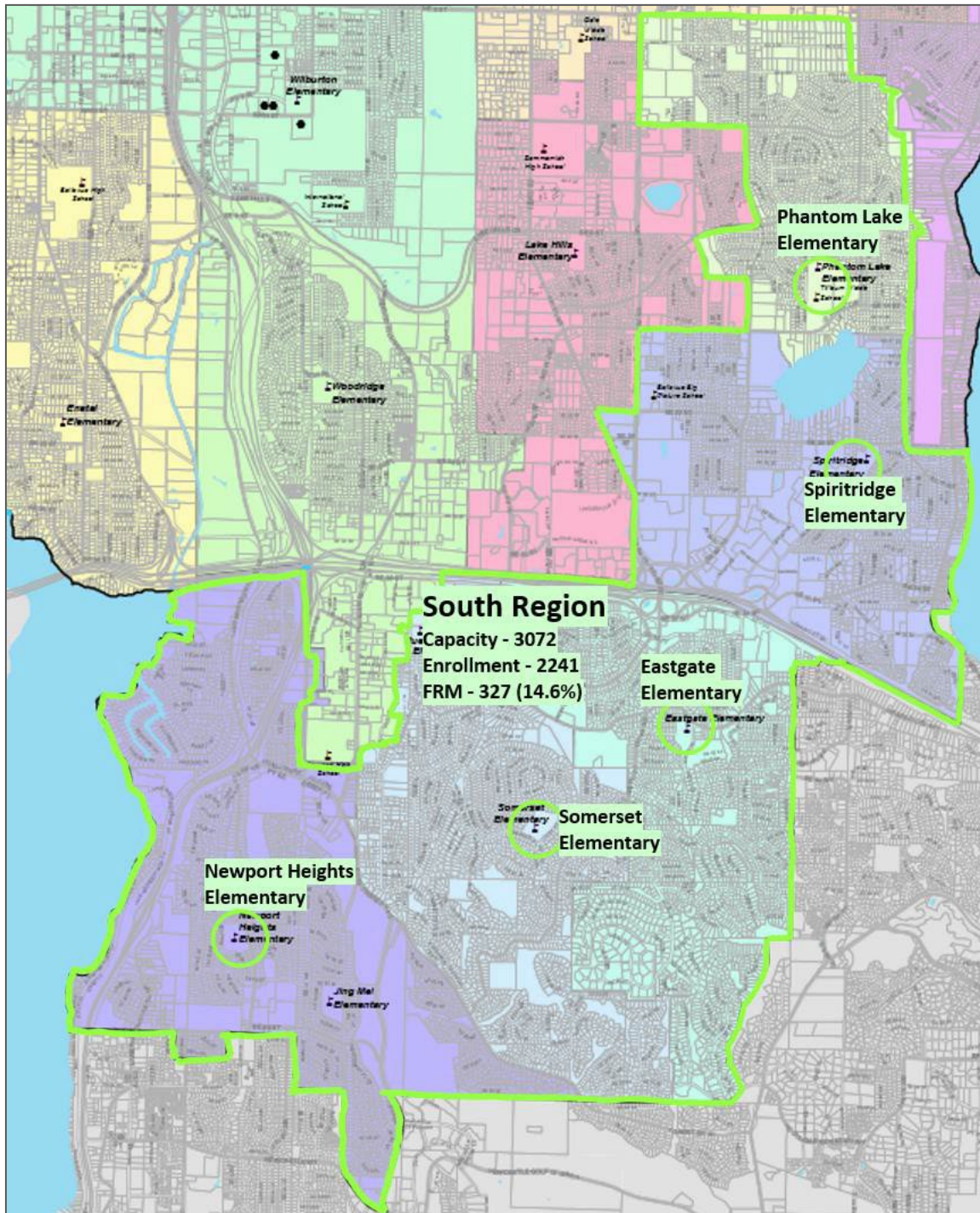
シェルターの生徒

ウィルバートンは、ホームレスを経験している家族のためのコミュニティシェルターを提供しています。すでに重大な移行とトラウマを経験している**生徒**を移動します。**シェルター**は今から1年以内に移転する予定です。

南部地域

地域: 南部

学校: イーストゲート、ニューポートハイツ、ファントムレイク、サマセット、スピリットリッジ



検討されたシナリオ

南部 地域: シナリオ E (推奨)

イーストゲートの学生をスピリットリッジと、サマセットに統合し

スピリットリッジのアドバンスラーニングプログラムをウッドリッジに移転する

イーストゲートからスピリットリッジへ 予測登録2023-24		
スピリットリッジ2023-24	イーストゲート予測 スピリットリッジへ	複合登録
350*	181	531

イーストゲートからサマセットへ 予測登録2023-24		
サマセット2023-24	イーストゲート予測 サマセットへ	複合登録
651	77	728

*スピリットリッジ予測 はアドバンスラーニング以外

スピリットリッジアドバンスラーニング(AL)からウッドリッジへ 予測登録2023-24		
ウッドリッジ2023-24	スピリットリッジAL からウッドリッジへの予報	複合登録
269	216	485

学校の定員

学校	教室数	収容定員	新規登録
イーストゲート	23	552	
サマセット	29 + 3ポータブル	696/768	728
スピリットリッジ	24 + 2ポータブル	576/624	531
ウッドリッジ	23 + 5ポータブル	552/672	485

オープントランスファー リクエスト - 2023/2024

学校	オープントランスファーアウト	オープントランスファーイン
イーストゲート	41	7
サマセット	1	81
スピリットリッジ	14	51
ウッドリッジ	12	4

メリット :

イーストゲートはスピリットリッジから2.2マイルです。ただし、I-90高速道路は障壁と見なされる場合があります。運転時間は約8~10分です。

登録人数

イーストゲートは登録人数が学区で最も急速に減少している学校です。今年はキンダーガーデンに30人しか在籍していないため、この学年では今後数年間、2学年合同クラスが必要になります。他の学校と統合することで、この問題に対処できます。

施設転用

イーストゲートの場所は、公共交通機関、I-90、ベルビューカレッジに近いことを考えると、施設を再利用する機会を提供します。

ウッドリッジは学区の中心部に位置し、アドバンスラーニングプログラムの生徒がアクセスしやすい場所です。

課題と考慮事項

特殊支援教育

イーストゲートは、学区が提供している特殊支援教育であるオリンピックプログラムを備えた2つの学校の1つで、現在18人の生徒がいます。この提案では、オリンピックプログラムはスピリットリッジまたは他の学校に移動させる必要があります。新しい場所の一般教育の教師は、オリンピックプログラムの生徒のためにインクルーシブな実践に関するトレーニングを必要とする場合があります。

イーストゲートコミュニティの分割

この提案により、イーストゲートコミュニティが2つの学校に分割され、一部の生徒が友達から別れなければならない可能性があります。スペースが許す限り、オープンエンrollmentによる機会を提供します。スタッフも学校間で分割される可能性があります。

。

検討されたシナリオ

南部 地域: シナリオF

ファントムレイクをスピリットリッジと統合する

スピリットリッジのアドバンストレーニングプログラムをイーストゲートとメダイナへ移転

ファントムレイクからスピリットリッジへ予測登録2023-24		
スピリットリッジ 2023-24	ファントムレイク予測スピリットリッジへ	複合登録
350*	341	691

*スピリットリッジ予測 はアドバンストレーニング以外

スピリットリッジアドバンストレーニングからイーストゲート 予測登録2023-24		
イーストゲート 2023-24年度	スピリットリッジAL 予測 イーストゲートへ	複合登録
258	168	474

スピリットリッジアドバンストレーニングからメダイナへの予測登録2023-24		
メダイナ 2023-24年度	スピリットリッジAL 予測 メダイナへ	複合登録
455	48	503

学校の 定員

学校	教室数	収容定員	新規登録
イーストゲート	23	552	474
メダイナ	23 + 6 ミニ 教室	552/660	503
スピリットリッジ	24 + 2 ポータブル	576/624	691

オープントランスファーリクエスト - 2023/2024

学校	オープン トランスファーアウト	オープントランスファーイン
イーストゲート	41	7
メダイナ	2	98
スピリットリッジ	14	51

メリット :

学校間距離

ファントムレイクはスピリットリッジ に近接しており、大きな障壁はありません。 2つの学校の間の距離は2マイル未満です。

施設転用

ファントムレイクは学区のやや中央に位置し、地区内外に住む家族を引き付けるために簡単にアクセスできます。

課題と考慮事項：

特殊支援教育

ファントムレイクには、**学区全体をカバーする126人の生徒がいる就学前プログラムがあり、そのうち37人が特殊支援教育を受けています。** インクルーシブ**就学前プログラム**を学区内の他の学校に拡大する取り組みは、過去数年間進行中です。ただし、ファントムレイクプログラムは依然として**学区**で最大であり、拡張が完了するまでにはしばらく時間がかかります。プログラムを移動するには、他の**学校**ではいくつかの施設調整が必要になります。

ウォーキング ネイバーフッド スクール

ファントムレイクは「ウォーキング」スクールで、スクールバスは**1台だけしかありません。** **ファントムレイクをスピリットリッジと統合する場合、生徒の移動に、より多くのスクールバスが必要になる可能性があります。**

ティリカムへの近さ

ファントムレイク小学校とティリカム中学校は隣り合っており、**中学生が小学校でボランティアをして、つながりを保つユニークな機会を提供しています。** これは、ファントムレイクの**生徒**を別の場所に移動する場合に考慮すべきことです。

検討されたシナリオ

南部 地域: シナリオ G

イーストゲートをサマセットと統合する

サマセットのアドバンスラーニングプログラムをニューポートハイツに移転

イーストゲートからサマセットへ 予測登録2023-24		
サマセット 2023-24	イーストゲート予測 サマセットへ	複合登録
436*	258	694

*サマセット予測はアドバンスラーニング以外

サマセットアドバンスラーニングからニューポートハイツへの予測登録2023-24		
ニューポートハイツ 2023-24年度	サマセットAL予測 ニューポートハイツへ	複合在籍
358	215	573

学校の定員

学校	教室数	収容定員	新規登録
イーストゲート	23	552	
ニューポートハイツ	30 + 2 ポータブル	720/768	573
サマセット	29 + 3ポータブル	696/768	694

オープンエンrollmentリクエスト - 2023/2024

学校	オープントランスファーアウト	オープントランスファーイン
イーストゲート	41	7
ニューポートハイツ	16	13
サマセット	1	81

メリット:

学校間距離

イーストゲートとサマセットは2マイル以内の距離で近接しています。

登録人数

イーストゲートは登録人数が学区内で最も急速に減少している学校です。今年はキンダーガーデンに30人しか在籍していないため、この学年では今後数年間、2学年合同クラスが必要になります。他の学校と組み合わせることで、この問題に対処できます。

施設転用

イーストゲートの場所は、公共交通機関に近いことを考えると、施設を再利用する機会を提供します。

課題と考慮事項：

特殊支援教育

イーストゲートは、オリンピックプログラムを実施している学区にある2つの学校の1つであり、現在、特殊支援教育を受ける20人の生徒にサービスを提供しています。この提案により、オリンピックプログラムはサマセットまたは別の学校に移転する必要があります。新しい場所の一般教育の教師は、オリンピックプログラムの生徒のためにインクルーシブな実践に関するトレーニングを必要とする場合があります。

サマセットアドバンストラニング

サマセットのアドバンストラニング(AL)プログラムは、サマセットとニューポートハイツの通学地域に住む生徒にサービスを提供しています。サマセットのALのほとんどの生徒(ほぼ80%)は、サマセット地区に住んでいます。

登録人数

サマセットとイーストゲートを組み合わせると、ポータブルが引き続き利用されない限り、学校が完全にいっぱいになってしまいます。この提案では、サマセットでのオリンピックプログラムに十分なスペースがない可能性があります。

分析

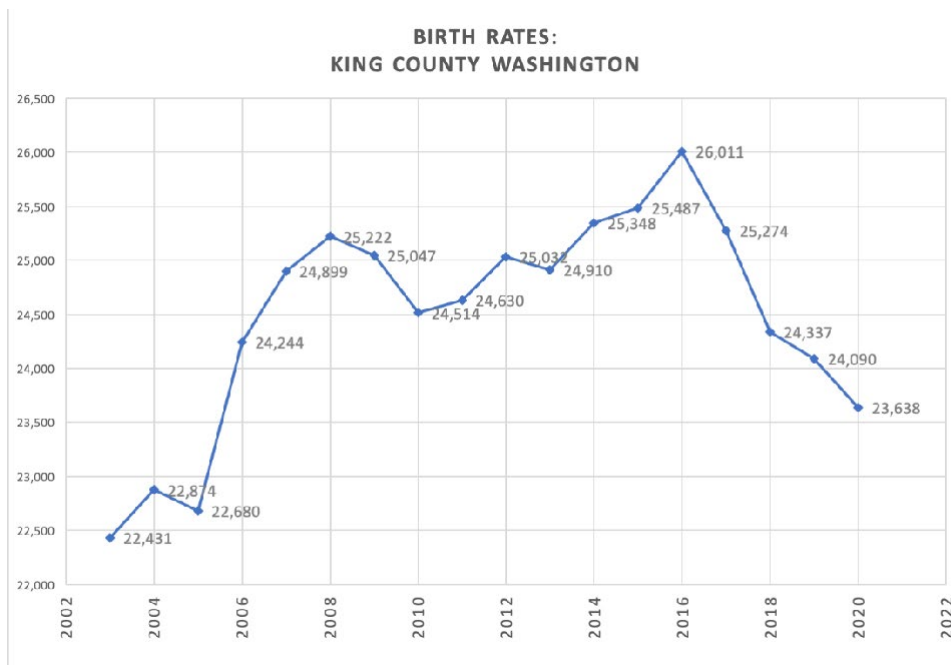
分析

A. 予測または実際の登録数の減少と、それらが永続的に残る可能性

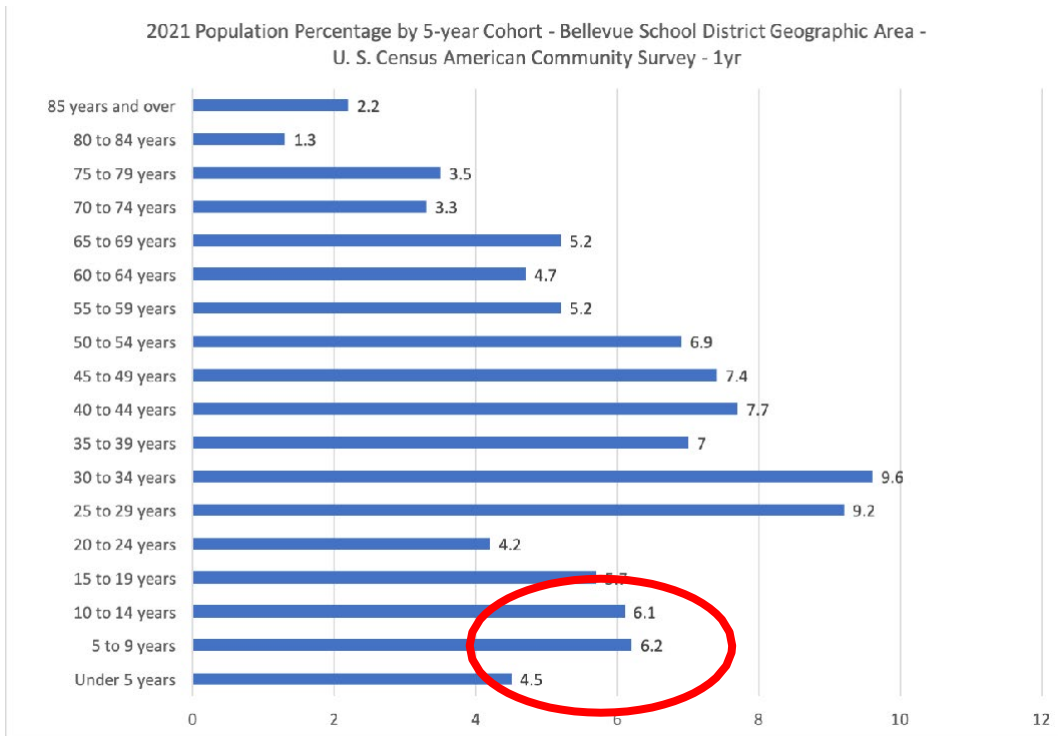
ベルビュー学区への登録人数は、2019/2020学年度にピークに達しました。登録人数は2020/2021年度と2021/2022年度に減少しました。多くの方がパンデミックが登録人数の減少を促進していると考えており、この地域がパンデミックから抜け出すと、登録人数は回復すると予想されていました。現在の学年は、伝統的な方法で学校が完全に開校した最初の年です。残念ながら、登録人数は戻っておらず、今後10年間は減少し続けると予想されます。

この結論につながる2つの重要な人口統計データポイントがあります-出生率の低下と2021年の国勢調査データです。

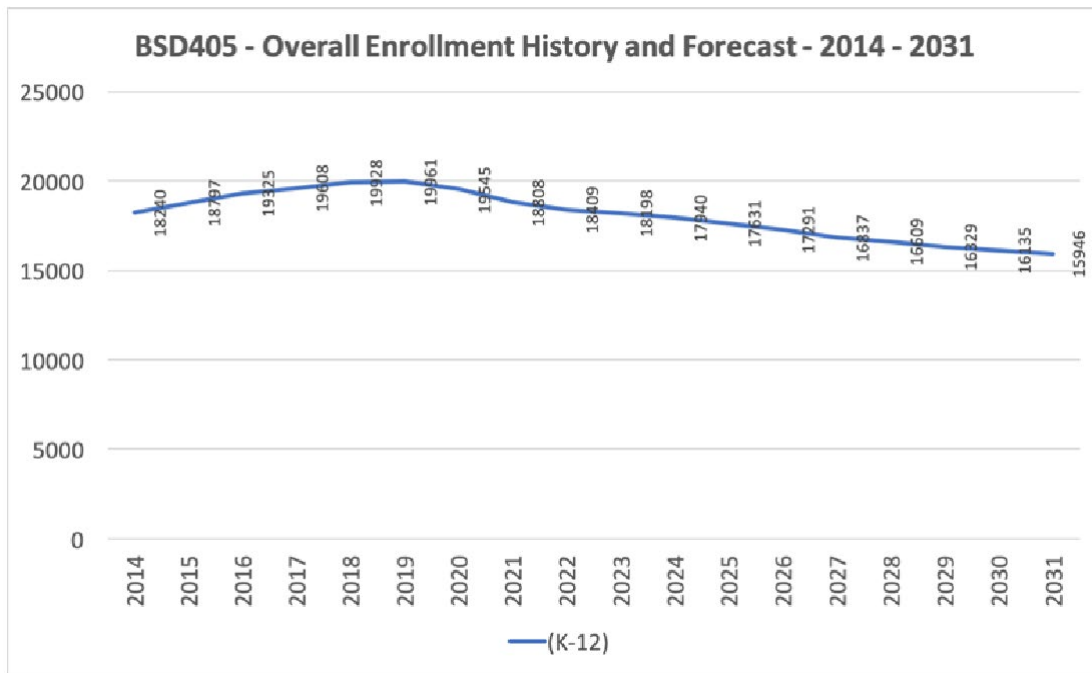
次のグラフは、データが入手可能な最後の年である2020年までのキング郡の出生数を示しています。キング郡の出生率は2016年にピークに達し、4年連続で低下しています。さらに、キング郡の出産年の女性1,000人あたりの出生率は、同じ時間枠で56.7から45.5。キング郡はワシントン州で最も出生率が低い郡です。



次のグラフは、学区の5年間のコホート別の2021年の人口割合を示しています。5歳未満の人口の割合はわずか4.5%ですが、5~9歳の割合は6.2%であり、この地域の就学前の子供は現在の小学校の生徒よりも少ないことを意味します。



これらのデータポイントは、下の グラフに示されている地区 の予測登録 に表示されます。



登録 の詳細については、「付録-背景情報」セクションを参照してください。

B. 統合または退職が他の施設および学区の教育プログラムに与える影響

この情報については、上記の提言と推奨事項を参照してください。

C. 統合による、生徒とスタッフの移動（新しい施設への交通費やスタッフの再配置を含む）

スタッフの異動に関する具体的な情報は、該当する団体交渉協定によって決定されます。さらに、他の支出削減とスタッフの再編成により、一部のポジションは来年に向けて廃止されます。

以下は、アードモア小学校のスタッフと生徒の情報です。

アードモア	データ	注
現在の総登録者数(1/1/23)	284	
2023-24年の予測登録	293	88人の学生が2023/2024学年度のオープントランスファーを要求しました。アードモアの登録人数は205人にまで減少する可能性があります。
# ベネットへ	44	
# チェリークレストへ	82	
#シャーウッドフォレストへ	167	
教室の先生	15	すべてのスタッフは移動
教室以外の教師と認定スペシャリスト	18	すべてのスタッフは移動
クラシファイドスタッフ	20	すべてのスタッフは移動
管理者	2	すべてのスタッフは移動

以下は、ウィルバートン小学校のスタッフと生徒の情報です。

ウィルバートン	データ	注
現在の総登録者数(1/1/23)	359	
2023-24年の予測登録	333	
#クライドヒルへ	142	
#エナタイへの	120	
#学生未定	71	71人の学生が 通学地域 外に住んでおり、オプションが提供されます。
教室の先生	17	すべてのスタッフは 移動
教室以外の教師と認定スペシャリスト	12	すべてのスタッフは 移動
クラシファイドスタッフ	20	すべてのスタッフは 移動
管理者	2	すべてのスタッフは 移動

以下は、イーストゲート小学校のスタッフと生徒の情報です。

イーストゲート	データ	注
現在の総登録者数(1/1/23)	283	
2023-24年の予測登録	258	
#スピリットリッジへ	181	
#サマセットへ	77	
教室の先生	15	すべてのスタッフは 移動
教室以外の教師と認定スペシャリスト	12	すべてのスタッフは 移動
クラシファイドスタッフ	23	すべてのスタッフは 移動
管理者	2	すべてのスタッフは 移動

労働協約で義務付けられているように、認定されたスタッフの非自発的な異動に対しては、50,000ドルの1回限りの費用が発生します。

D. 人件費、運用および保守コスト、不動産の売却またはリースからの潜在的な収益、閉鎖および他の場所での事業移転のコストなどの **要因** に関する財務上の考慮事項

スタッフの多くは、適用される団体交渉協定の条件に従って異動します。統合による**節約のため**、すべてのスタッフが**受け入れ先**の学校でポジションを持っているわけではありません。これらの節約は初年度には作成されない可能性があります、毎年達成され、継続されます。

設備統合による固定費の削除:

アイテム	学校統合による節約額
リーダーシップ	600,000ドル
教室以外 認定 スタッフ	600,000ドル
クラスルームスタッフ (詳細 効率的な 人員配置)	600,000ドル
クラシファイドスタッフ	420,000ドル
オフィス スタッフ	160,000ドル
カストディアン	100,000ドル
ユーティリティ	350,000ドル
地上 保全	300,000ドル
ビル メンテナンス	200,000ドル
トータル	3,330,000ドル

学校を統合するには、**通学**ルートの見直しが必要になります。ただし、**登録人数の減少**によるルートと乗客数を確認した後、**正味の影響はバスルートが1つ少なくなり、年間30,000ドルの節約**になります。

北部 地域の 推奨提言:

学校	現在のバス	統合による 必要なバス
アードモア	4	0
ベネット	2	4
シャーウッドフ オレスト	3	4
チェリークレスト	5	5
トータル	14	13

中西部 地域の 推奨提言:

学校	現在のバス	統合による 必要なバス
		。
クライドヒル	3	5
エナタイ	2	4
ウィルバートン	4	0
トータル	9	9

南部 地域の 推奨提言:

学校	現在のバス	統合による必要なバス。
イーストゲート	3	0
サマセット	2	3
スピリットリッジ	2	4
スピリットリッジAL	3	0
ウッドリッジAL	0	3
トータル	10	10

E. 施設を他の目的に有効利用できるかどうか

2018年春、BSDは管理者とコミュニティメンバーを含む成長計画委員会を結成しました。このチームは、登録傾向、地域社会の成長期待、**学区**プログラムのニーズを研究することにより、**学区**の長期的な施設戦略を形成する任務を負いました。委員会は1年間会合し、最終的に合計6億7500万ドルの債券パッケージをBSD Boardに提案しました。BSD Boardは2020年2月に選挙を実施することに合意しました。債券パッケージは、ベルビューの住宅の大幅な増加が見込まれているにもかかわらず、今後10年間で**生徒登録人数**が横ばいになると想定していました。その結果、パッケージは、**学区**の教育スペースの基準を下回る建物の**建て替え**に焦点を当てました。再建される**予定**の最後の学校は、ジンメイ、ビッグピクチャースクール、インターナショナルスクールでした。

2018年の**校舎**の平均容量使用率は84%でした。校舎の理想的な利用率は85%~90%であり、地区の地域成長と新しいプログラムのための余地を残しています。現在の**学区**全体の平均利用率は75%であり、今後10年間で67%に低下すると予想されています。**利用率**が75%の場合、教室の4つに1つが本来の目的に使用されていません。小学校レベルでは、平均利用率は現在67.95%です。3つの小学校を統合しても、小学校の平均利用率は79%になり、小学校レベルでの成長と新しい教育プログラムの余地が残ります。

学区は、ジンメイ、ビッグピクチャースクール、インターナショナルスクールの再建に必要な資金を得るための**債券**をまだ販売していません。これらのプロジェクトは、現在の**登録人数**と予想される**登録人数**の減少を考慮して一時停止されました。納税者はこれらの施設の建設にお金を払っていません。

学区はこれらの施設のニーズを満たすために、納税者からの**追加**の資金で新しい学校を建設するのではなく、**現在ある施設**を活用することを計画しています。BSDは、近い将来、これらのニーズを満たすために、統合された学校施設を使用します。これらの学校のニーズを満たすために施設へのいくつかの改造が必要になり、債券資金はこの改造に使用されますが、これは新しい施設を建設するよりも大幅に少なくなります。

これらのニーズに加えて、BSDは、**登録人数**を増加させるために、**新しいプログラム**を提供する予定です。最初のプログラムは、この秋から、キンダーガーデンから2年生までのアラビア語プログラムを提供する予定です。既に120人の学生がこのプログラムに登録しており、その約3分の2は現在ベルビュー**学区**に在籍していません。

BSDの登録人数減少に関するより詳しい情報と他の情報源からの情報は付録にあります。

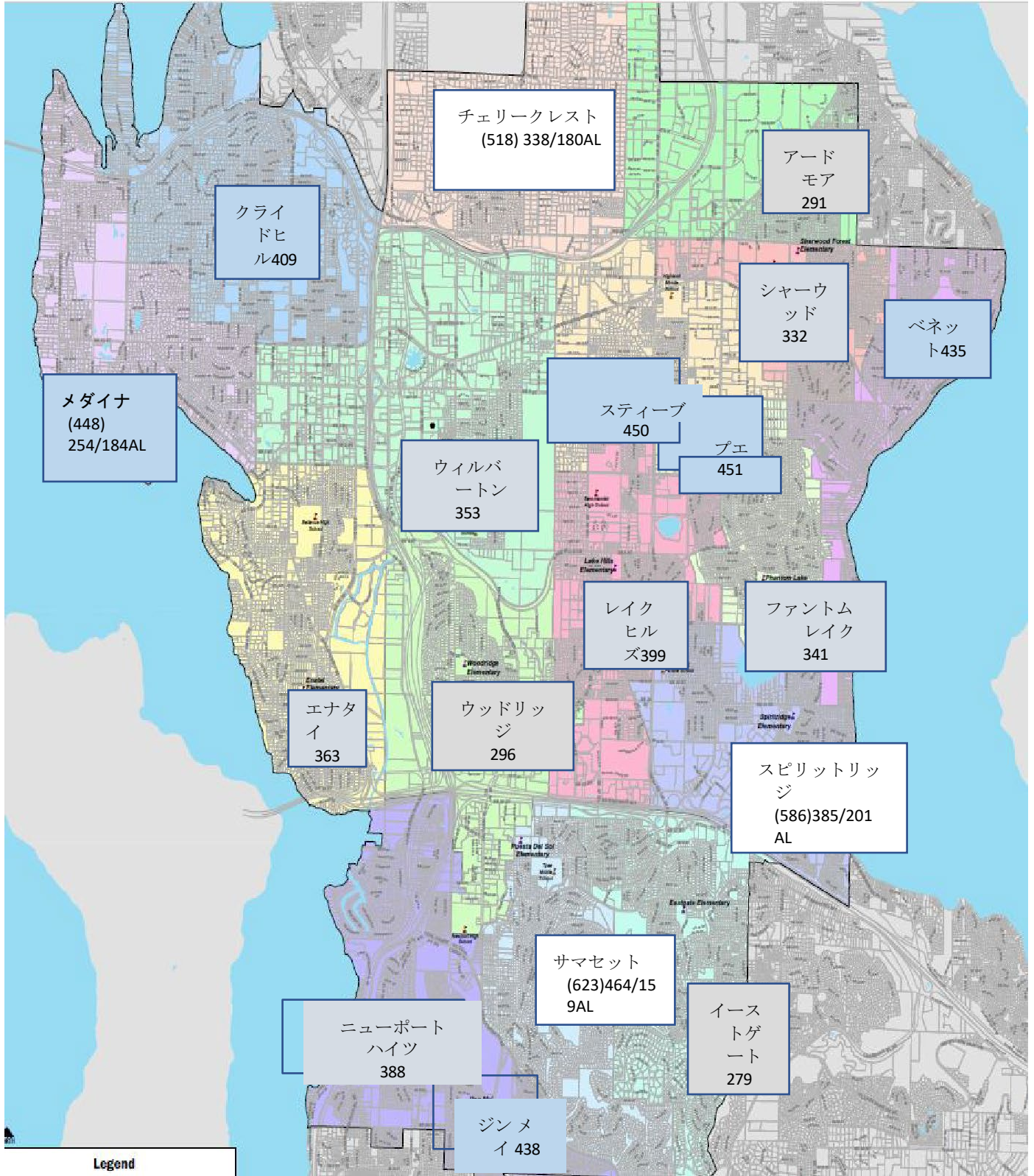
F. 安全、健康、火災の規制

統合が推奨されている施設には、健康、または火災規制の懸念はありません。しかし、**建設計画**を一時停止した施設(ジンメイ、ビッグピクチャースクール、インターナショナルスクール)には、屋外の廊下、安全玄関の不足、学校の前のボラードなし、自動ロック機構のない複数の入り口など、それぞれ安全上の懸念があります。

追加分析

追加分析

ベルビュー学区(BSD)には、北京語の二言語学校であるジンメイとスペイン語イマージョンスクールであるプエスタデルソルの2つの**チョイススクール**を含む18の小学校があります。前のセクションで説明したように、地区は3つの小学校を統合して、現在および予想される小学校の**登録人数を勘案して学校数を適正化する**予定です。以下は、2022年10月現在の小学校とその**在校生数を示した地図**です。



統合のクライテリア

18の小学校すべてが、次のクライテリアを使用して統合が検討されました。

現在 および 予測の登録人数:

- 生徒の学習リソースを最大化する能力
- 建物の使用率を最大化する能力

場所:

- 統合される学校との近さ
- スクールバスへの影響
- 公共交通機関へのアクセス
- 幹線道路への近さ

主流から取り残されたコミュニティへの影響:

- 無料 & 割引 ランチ
- 人種
- 多言語 学習者

専門プログラムへの影響:

- プリスクール
- タイトル スクール リソース
- アドバンス トレーニング
- 特殊支援 教育

その他の考慮事項:

- タイトルリソースの喪失
- 無料の サマー ランチ プログラム
- オープン トランスファー 需要

以下のページには、ジンメイとプエスタデルソルのチョイススクールを除く各小学校に関する情報が含まれています。

小学校の評価クライテリア：

学校	入学者数(10月)			位置データ		専門プログラム	生徒一人当たりの支出	22/23 SYのネットオープントランスファークエスト
	2019/20	2022/23	2025/26	公共交通機関 。 - 停車距離(マイル)	幹線までの距離(マイル)			
アードモア	401	296	293	0.9 マイル	0.2 マイル	タイトルI	14,194ドル	(101)
ベネット	427	436	506	0.8 マイル	0.6 マイル	オリンピック	8,436ドル	116
チェリークレスト	618	518	522	1.2 マイル	1.1 マイル	アドバンストラーニング	7,385ドル	176
クライドヒル	524	406	327	0.1 マイル	0.08 マイル		9,414ドル	1
イーストゲート	429	278	230	0.07 マイル	0.06 マイル	オリンピック	14,202ドル	(3)
エナタイ	462	361	308	0.5 マイル	0.05 マイル	インクルーシブプラクティス	11,396ドル	-
レイクヒルズ	485	400	329	0.3 マイル	0.1 マイル	二言語 タイトルI 無料の夏の食事	12,658ドル	(43)
メダイナ	491	448	448	0.4 マイル	0.4 マイル	アドバンストラーニング	7,451ドル	79
ニューポート ハイツ	527	382	316	0.1 マイル	0.02 マイル	パシフィック	11,890ドル	4
ファントムレイク	332	344	362	0.8 マイル	0.3 マイル	プリスクール	11,725ドル	9
シャーウッド フォレスト	392	341	279	0.2 マイル	0.009 マイル	二言語 パシフィック タイトルI	15,367ドル	(36)
サマセット	670	625	630	0.05 マイル	1.2 マイル	アドバンストラーニング	7,621ドル	48
スピリットリッジ	698	583	566	0.7 マイル	0.008 マイル	アドバンストラーニング	7,879ドル	22

スティーブソン	597	461	352	0.09 マイル	0.04 マイル	二言語 インクルー シブプラクテ ィス タイトルI	13,170ド ル	(117)
ウィルバートン	501	350	307	0.6 マイル	0.01 マイル	インクルーシブプラク ティス	11,709ド ル	(23)
ウッドリッジ	446	298	244	0.2 マイル	0.2 マイル	カスケード	13,349ド ル	(10)

北部地域の学校

中西部地域の学校

南部地域の学校

小学校人口統計(生徒数)

学校	人種						多言語学習者	特別支援教育	無料 & 割引ランチ
	ネイティブアメリカン	アジア人	ブラック-アフリカンアメリカン。	ヒスパニック	2人種またはそれ以上	白人			
アードモア	2	85	30	73	32	64	122	35	119
ベネット	3	190	9	28	55	148	92	50	29
チェリークレスト	1	333	6	9	40	125	51	20	19
クライドヒル		209	15	33	31	121	103	50	50
イーストゲート		113	10	26	48	87	62	47	41
エナタイ		108	16	47	55	139	73	36	67
レイクヒルズ		58	51	160	37	96	161	51	254
メダイナ	1	327	1	9	33	88	77	27	12
ニューポートハイツ	3	166	19	32	50	114	84	48	84
ファントムレイク		97	16	46	45	141	88	37	91
シャーウッドフォレスト	2	71	43	137	26	92	172	73	196
サマセット		464	7	29	58	86	128	37	41
スピリットリッジ		305	23	50	63	154	94	46	71
スティーブンソン	2	232	30	196	12	32	300	63	240
ウィルバートン	1	168	30	56	38	108	133	35	104
ウッドリッジ		135	9	29	34	114	72	44	72

北部地域の学校
 中西部地域の学校
 南部地域の学校

検討されたその他のオプション(スタッフとプログラムの削減)

学校の統合ではなく、人員配置とプログラムの追加的な削減を検討しました。これらの削減の一部は、**学区が生徒にとって最大の成果をもたらすために支出を調整すること**に取り組んでいるため、学校の統合があっても発生する可能性があります。

アイテム	FTE合計	統合しない場合でも	コメント/メモ
教室以外の教師	48	7,200,000ドル	
学校 管理者	15	2,850,000ドル	
契約している パラ エデ ュケーター		2,000,000ドル	社内採用と Behavior Techsなどの他のスタッ フの使用に焦点を当て る
学校ベースの 生徒 サポート	40	1,800,000ドル	
教室 の先生	80	12,000,000ドル	登録人数の減少、効 率の向上、および教 師 契約によるクラス のサイズ
個別指導		250,000ドル	
コンピュータ サ イエンス の教師	4.5	525,000ドル	
カウンセラー	9	1,350,000ドル	契約及び登録人数減少 によるケースロードを あわせる
生徒サポート		2,600,000ドル	サマー スクール、 教師 コーチ
メンタルヘルスア シスタント チーム (MHAT)		3,000,000ドル	
セントラル オフィ ス スタッフ	8	1,800,000ドル	
学校運営 スタッフ と 経費	6	980,000ドル	
トータル		36,355,000ドル	

クリティカル
クライテリア分析

クリティカルクライテリア分析

2023年1月26日の教育委員会のスタディセッションで、私たちが直面している登録人数の減少と減少の影響についてを議論された時、7つの学校統合オプション(アードモア、イーストゲート、エナタイ、ファントムレイク、シャーウッドフォレスト、ウィルバートン、ウッドリッジ)を導き出すには、[Procedure0130P-公平性と説明責任](#)で概説されているクリティカルクライテリアが慎重に検討され、適用されました。

学区は、統合の可能性が特定された7つの学校で一連のコミュニティオープンハウスを開催しました。これらの関与の機会、利害関係者に個々の学校コミュニティへの影響を共有し、地区リーダーに質問する機会を提供しました。

出席者には、10のフィードバックを提供する機会も提供されました。

これらのオープンハウス、スタッフ会議、調査、およびその他のコミュニケーションから学んだことは、生徒と家族への潜在的な利益と害を明らかにしたため、このレポートに含まれる推奨事項と、前進するためのプロセスに情報を提供しました。

学校統合の可能性という選択肢から、3つの学校を統合するという提言に焦点を移すにつれて、家族をより深く関与させ、学校コミュニティの融合を成功させる機会が複数あります。これには、学校ベースおよび複数学校ベースのコミュニティ委員会とワークグループが含まれます。

私たちは、すべての家族、特に変更の影響を受ける可能性のある教育正義から最も遠い家族の意見を確実に聞くことにフォーカスしています。一例として、オリンピックプログラムの生徒のための特定のフォーカスグループが確立され、そのプログラムの今後の最適な配置が決定されます。このプログラムはイーストゲートの生徒と一緒にスピリットリッジに移動すると想定していますが、家族が望むように他のオプションを検討します。

付録のクリティカルクライテリア計画テンプレートを参照してください。

コミュニティとの エンゲージメント

コミュニティとのエンゲージメント

今学年度、登録人数の減少の影響に関する情報は、さまざまなアプローチを利用し、さまざまな利害関係者から集められたフィードバックやアイデアとともに共有されました。これには、プレゼンテーション、ビデオ、調査、スタッフミーティング、コミュニティオープンハウス、学校管理者やプログラム管理者とのフォーカスマーケティングが含まれていました。このチャートは、エンゲージメント戦略のスナップショットを提供しています。

イベント/ミーティング	日付	時間	場所	目的/注意事項
アドバイザーチーム	11/28/22	午後12時	ESC	登録データの確認/意見の収集
アドバイザーチーム	12/7/22	午前10時30分	ESC	意見の収集/コラボレーション
アドバイザーチーム	12/14/22	9:00 午前	ESC	意見の収集/コラボレーション
アドバイザーチーム	1/4/23	午前10時30分	ESC	意見の収集/コラボレーション
アドバイザーチーム	1/11/23	午前9時30分	ESC	意見の収集/コラボレーション
アドバイザーチーム	1/20/23	1:00 午後	ESC	意見の収集/コラボレーション
アドバイザーチーム	1/27/23	午後1時30分	ESC	意見の収集/コラボレーション
アドバイザーチーム	2/8/23	4:00 午後	Teams	意見の収集/コラボレーション
校長 1:1	進行中	進行中	対面/Teams	意見の収集/サポートの提供
教育委員会	10/6/22	午後4時30分	WISC レーニア	強化会: 登録の更新
エグゼクティブリトリート	10/27/22	午前8:00	オフサイト	登録の更新と財務上の影響
教育委員会	12/15/22	午後4時30分	WISC レーニア	登録の更新と財務上の影響
教育委員会	1/12/23	午後4時30分	WISC レーニア	学校統合
教育委員会	1/26/23	午後4時30分	WISC レーニア	学校統合の更新
学校 スタッフ	1/17/23	午前7時30分	ファントムレイク	PLE Presentation_01.17.2023.pptx
学校 スタッフ	1/17/23	2:50 午後	ウィルバートン	WES スタッフ エンゲージメントセッション 1.17.23 PDFファイル.pdf
学校 スタッフ	1/18/23	午後1時30分	ウッドリッジ	WRアドボカシースクールの閉鎖1月18日.pptx ウッドリッジの物語.docx
学校 スタッフ	1/18/23	3:00 午後	シャーウッドフォレスト	シャーウッドフォレストへようこそ.pptx
学校 スタッフ	1/19/23	7:45 午前	イーストゲート	イーストゲートプレゼンテーション 1-19-23.ppt
学校 スタッフ	1/19/23	2:45 午後	エナタイ	
学校 スタッフ	1/20/23	3:00 午後	アードモア	アードモア スタッフ プレゼンテーション 1.20.23.pptx アードモア 学生 ビデオ
コミュニティ	1/23/23	午後4時30分	ファントムレイク	意見を収集し、質問に答える
コミュニティ	1/23/23	6:00 午後	イーストゲート	意見を収集し、質問に答える
コミュニティ	1/24/23	午後4時30分	ウッドリッジ	意見を収集し、質問に答える
コミュニティ	1/24/23	6:00 午後	エナタイ	意見を収集し、質問に答える
コミュニティ	1/24/23	7:15 午後	オンライン	意見を収集し、質問に答える
コミュニティ	1/25/23	午後4時30分	ウィルバートン	意見を収集し、質問に答える
コミュニティ	1/25/23	6:00 午後	アードモア	意見を収集し、質問に答える
コミュニティ	1/27/23	6:00 午後	シャーウッドフォレスト	意見を収集し、質問に答える
PTSA 評議会	9/12/22	午前9時30分	WISC	

		分		
ベルビューダウンタウン協会	12/20/22	午前7時30分	オンライン	
SCAC	12/7/22	4:00 午後	ハイランドMS	
SCAC	1/11/23	4:00 午後	ハイランドMS	
就学前-保護者	1/30/23	6:00 午後	オンライン	
特別支援教育-保護者	1/26/23		オンライン	
生徒の声	1/24/23		アードモア	ボードプレゼンテーション 1/20/23 1.mp4
生徒の声	1/25/23		シャーウッドフォレスト	SFEFeedback.pdf
生徒の声	1/26/23		イーストゲート	イーストゲート小学生フォーカスグループインタビュー(1-26-23).docx
調査	12/8/22	進行中	オンライン, 紙	入力を収集し、FAQを作成する
BGA-保護者	1/31/23	12:00 午後	ESC	提案を聞く
全スタッフ調査	12/8/2023		オンライン	意見を収集し、質問に答え、FAQを生成する
スタッフ調査	1/17/2023		オンライン	意見を収集し、質問に答え、FAQを生成する
コミュニティ調査	1/23/2023		オンライン	意見を収集し、質問に答え、FAQを生成する
ブレキンダーコミュニティ	1/30/2023		アンケート	意見を収集し、質問に答え、FAQを生成する

フィードバックの概要

将来の計画 – コミュニティフィードバックの概要

2022年12月8日、学区はコミュニティからのフィードバックを収集するためにLet's Talkを有効にしました。コミュニティ オープンハウスでは、コミュニティは オンライン調査または利用可能な紙のコピーを介してフィードバックを提出することができました。7校すべてで500件以上の回答を集めました。

7つの学校それぞれでオープンハウスの機会が提供され、情報を共有し、質問に答え、コミュニティから話を聞きました。これらのイベントには出席 調査は行われませんでした。非常に多くの参加者がいました。

コミュニティフィードバックのテーマ

- **タイムライン:** タイムラインと動きが速すぎることに懸念が表明されました。
- **公平性:** 教育的正義 から最も遠い生徒がさらに取り残されないようにする方法について質問が提起されました。
- **プリスクール:** プリスクールに関する質問と、なぜそれが学校の利用データで考慮されないのか。
- **代替案:** 学校の統合を必要としない予算削減を含む、他の代替案に関する質問。
- **透明性:** 意思決定に使用されるデータの正確性に関する質問と懸念。
- **クラスサイズ:** クラスのサイズが増加するという懸念 と、クラスのサイズが小さいままである方が良いという意見。

将来の計画 – スタッフのフィードバックの概要

2022年12月8日には、全校と本部で職員説明会を開催し、登録人数減少に関する情報を共有しました。

2022年12月8日にスタッフ調査を実施し、420件の回答を得ました。

2023年1月中旬に統合を検討していた7校を対象に、第2回職員調査を実施しました。これは200件以上の回答を得ました。

2023年1月16日の週に7つの学校でスタッフミーティングを開催し、学校スタッフからのフィードバックやアイデアを収集しました。

スタッフのフィードバック テーマ:

- **雇用保障:** ほとんどの質問は、雇用保障、将来の彼らのポジション、および学区が一時解雇をどのように処理するかについてでした。
- **アドバンスラーニング:** アドバンスラーニングについて、およびこのプログラムが登録人数に与える影響が考慮されなかった理由について質問が提起されました。
- **クラスサイズ:** クラスサイズに関する懸念が表明されました。
- **代替案:** 統合の代替案に関する質問。

今後の予定

学校統合プロセスのタイムラインと継続的なエンゲージメント

フィードバックと提案を共有し、また学校および学区レベルで分析されたデータを検討した後、いくつかのシナリオが開発されました。暫定教育長のジャービス博士は、2023年2月9日の定例教育委員会で理事会に勧告を行います。これにより、推奨される変更の影響を受ける利害関係者とのより深い関与を含むエンゲージメントプロセスが開始されます。このプロセスには、学校レベルで結成されたヒアリング、フォーカスグループ、および利害関係者委員会が含まれます。委員会には、変更の影響を受ける地域内の各学校の利害関係者が含まれます。これは、学生、スタッフ、家族の前向きな移行をサポートする活動と必要な行動を設計および履行するためのより大きなコミュニティの取り組みの機会を提供します。(以下の履行ページを参照してください)

イベント/ミーティング	日付	時間	場所	目的
教育委員会	2/9/23	午後4時30分	WISC レーニア	統合の推奨事項
コミュニティ委員会	2/10/23	オープン	オンライン	レビュー用のデータを提供する
コミュニティ委員会	2/14/23	午後4時から6時	未定	フィードバックや提案について話し合う
ベルビューロータリー	2/14/23	12:00 午後	未定	更新を共有する
オーバレイクロータリー	2/17/23	午前7時30分	未定	更新を共有する
教育委員会、コミュニティ委員会	2/16/23	午後4時30分		学校統合のための勉強会
ヒアリング	2/28/2023	午後4時30分	WISC レーニア	コミュニティの意見
ヒアリング	3/2/2023	午後4時30分	WISC レーニア	コミュニティの意見
ヒアリング	3/3/2023	午後4時30分	WISC レーニア	コミュニティの意見
フォーカスグループ	未定			インプットとアドバイザー
地域委員会	未定			計画と履行
学校ベースのワークグループ	未定			計画と履行
コミュニティ委員会	未定			ヒアリングからの情報を検討する
教育委員会	3/9/23	午後4時30分	WISC レーニア	
教育委員会	3/23/23	午後4時30分	WISC レーニア	

以下は、今後の利害関係者の関与に関する詳細を提供する表です。

	コミュニティ委員会	学校ベースコミュニティ	すべての利害関係者	地域委員会	学校の委員会	管理者アドバイザー
メンバーシップ	コミュニティメンバー： <ul style="list-style-type: none"> • マイケル・チェン • レヌカ・ゲッチェル • スティーブ・マコーネル • ヘイジャ・ナン • マルタ・トリレス・ラモス • モニカ・ウェブスター 	学校ベースのメンバー (6): <ul style="list-style-type: none"> • 学校ごとに1人のスタッフと1人の家族代表 	すべてのスタッフ、家族、学生、コミュニティメンバー	地域の各学校のスタッフと家族	学校を拠点とするスタッフと家族	3つの統合学校の管理者、HR、Special Ed、MLL、およびAL
目的	学校統合の決定で個人的に影響を受けないコミュニティの人々からの批判的なレビューや提案を含む第三者の視点を提供します	学校統合の決定によって直接影響を受けるコミュニティの人々からの批判的なレビューと提案を提供します。	統合計画に関するフィードバックとインプットを提供します。	各地域は、影響を受けた各学校の代表者で構成される運営委員会を形成します。この委員会は、コミュニケーションとエンゲージメントを含む移行を監督します。	統合される予定の各学校は、必要に応じて、ワークグループの割り当て、コミュニケーションとエンゲージメントの管理、およびリソースの勧誘を行うための運営委員会を形成します。	このリーダーシップは、学生とスタッフの移行を管理するために定期的に会合します。 利害関係者とのコミュニケーションとエンゲージメントを継続します
日付/メモ	2/10/23: 計画と背景情報を確認する 2/14/23: 副教育長とミーティングしフィードバックの計画とフォーマットについて話し合います。 2/16/23: 教育委員と面談しフィードバック、提案、および考慮事項を提供します		ヒアリング暫定の日付 2/28/23: 3/1/23: 3/2/23:	2/14/23: 入会勧誘プロセス開始	未定	2/14/23 追加の日付は未定

移行計画と履行

移行の計画と履行

統合が推奨される学校が発表されると、影響を受ける各学校コミュニティの広範な移行計画プロセスが開始されます。各コミュニティは、学区のスタッフとチームの支援を受けて、コミュニティを代表した移行計画チームを確立する機会があります。このチームの目標は、この共同プロセスの中心に家族を据えて、学校やコミュニティと統合プロセスを共同で構築していくことです。

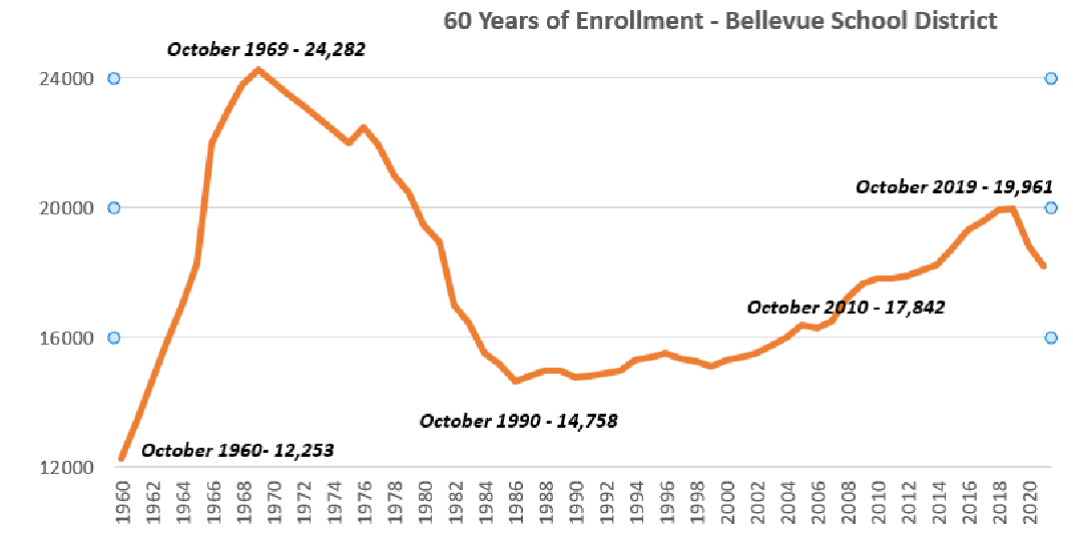
この重要な作業でチームをサポートするために、移行計画テンプレートが確立されました。チームは、コミュニティ固有のニーズに合わせてテンプレートを調整できます。このテンプレートと学区からのサポートは、予測措置としてではなく、移行について考えるための構造とサポートをコミュニティに提供し始めるために、統合の推奨提言に含まれるすべての学校でヒアリングに先立って利用できるようになります。

移行計画フレームワークとテンプレートは、付録に記載されています。

付録

バックグラウンド

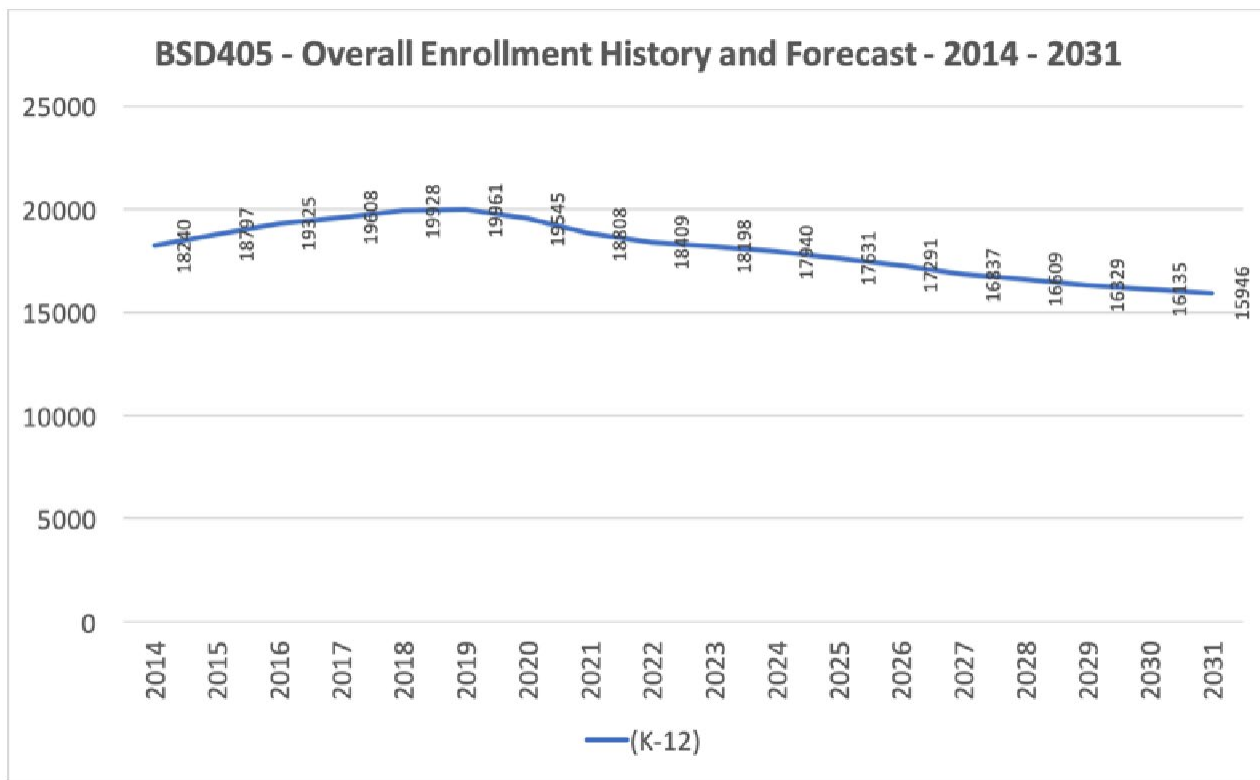
K-12の登録人数は、米国西部とピュージェット湾地域全体で減少しています。ベルビュー学区(BSD)の入学者数は、過去60年間で、25,000人近くの生徒の最高から15,000人未満の最低まで変動しました(グラフXを参照)。1969年から1990年の間に入学者数が減少したため、学区はX小学校と2つのミドルスクールを閉鎖しました。



BSDの登録人数は2000年から2019年にかけて増加し、20,000人近くの生徒数まで達しました。2014年、小学校レベルでの生徒の登録人数増加の影響により、エナタイ、クライドヒル、ウッドリッジを含む複数の学校で過密状態が発生しました。BSDはその過密を軽減するために、新小学校を設計及び建設するプロセスを開始し、その結果2018年に新しい小学校であるウィルバートン小学校が開校されました。

2018年春、BSDは管理者とコミュニティメンバーを含む成長計画委員会を結成しました。このチームは、登録人数傾向、コミュニティの成長期待、学区プログラムのニーズを調査することにより、学区の長期的な施設戦略を形成する任務を負いました。委員会は1年間会合し、最終的に合計6億7500万ドルの債券パッケージを教育委員会に提案しました。教育委員会は2020年2月に選挙を実施することに合意しました。債券パッケージは、ベルビューの住宅の大幅な急増にもかかわらず、今後10年間で登録人数が横ばいになると想定していました。その結果、パッケージは、学区の基準を下回る教育スペースの建物の交換に焦点を当てました。再建される予定の最後の学校は、ジンメイ、ビッグピクチャースクール、インターナショナルスクールでした。

2020年3月、ワシントン州はグローバルパンデミックによりすべてのK-12公立学校を閉鎖しました。2020/2021学年度では、BSDの登録人数は416人の学生を減らしました。2021/2022年の学校では、BSDはさらに737人の生徒を失い、2022年の秋までにさらに399人の生徒を失い、合計1,552人の生徒が減少しました。小学校の総損失は、主にK-4年生で1,323人の生徒でした。

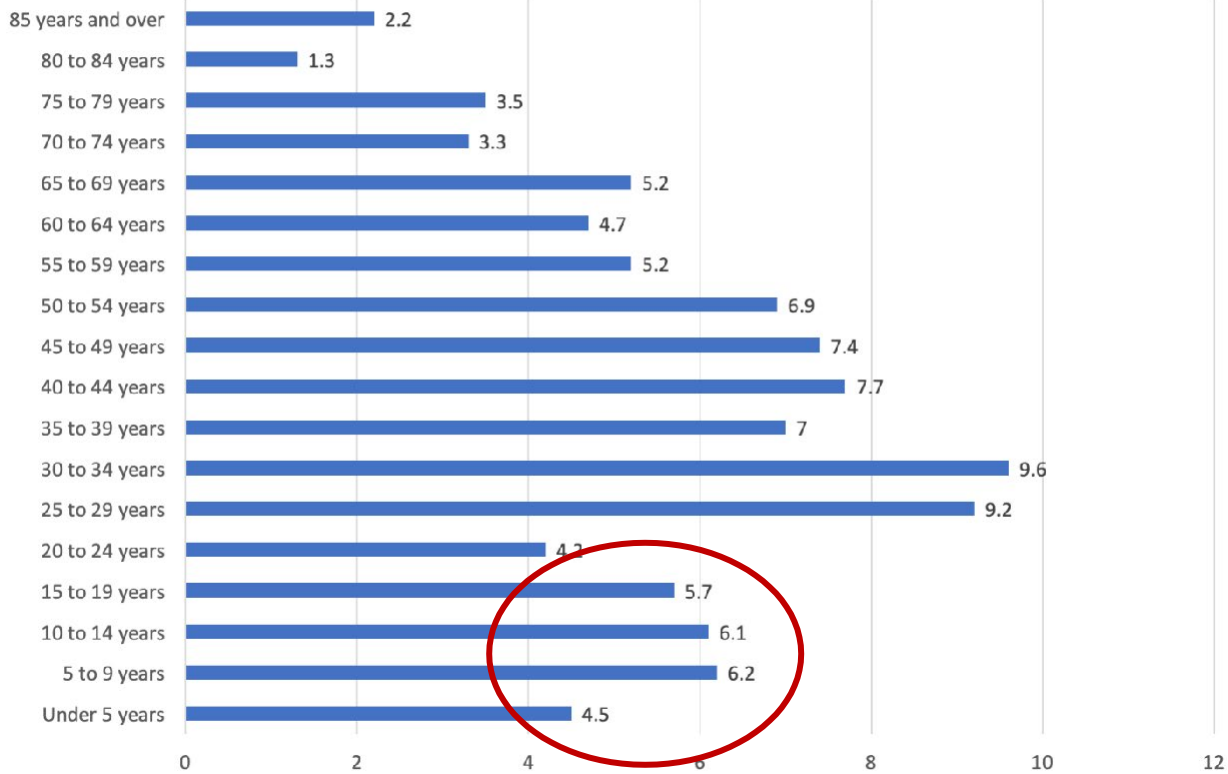


パンデミックにより、債券パッケージが開発されていた2018年には予想もされていなかった、複数の人口動態の変化が生じました。

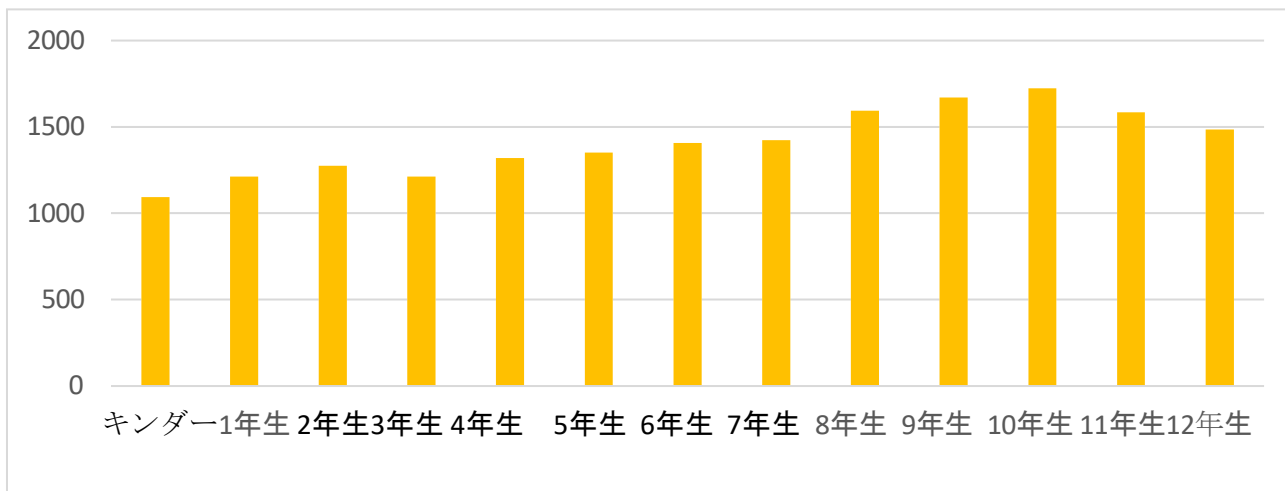
- 移民家族の喪失: パンデミックがより深刻になるにつれて、テクノロジー業界で働くH1Bビザでベルビューに住んでいたコミュニティの家族の多くは母国に戻りました。ウィルバートン小学校(148人)、スティーブソン小学校(147人)、クライドヒル小学校(115人)での損失は、この人口動態の変化を示しています。
- キング郡の出生率の低下: キング郡の出生率は2016年以降低下しています。学区の長期計画が完成したとき、BSDは出生率の低下は住宅の増加によって相殺されると予想していました。当時、計画されていた住宅は、100戸ごとに7人の生徒を生み出していました。ベルビューの20,000戸の追加の住宅は、出生率低下を相殺する1,400人の生徒を生み出すと予想していました。
- 住宅費の高騰: キング郡の住宅不足により、住宅費が高騰し、家族にとって手頃な価格の住宅数が低下しています。2022年のベルビューの一戸建て住宅の中央値は190万ドルでした。ベルビューの1ベッドルームアパートの平均家賃は2,500ドル、2ベッドルームの平均家賃は3,500ドルです。2ベッドルームのアパートに住むためには、\$150,000の年収がなければなりません。ベルビューの世帯収入の中央値は\$142,000です。家族はベルビューに引っ越していません。

これらの人口動態の変化の影響は、学区の地域のための5年間コホートデータによる2021年の人口パーセンテージで見ることができます

2021 Population Percentage by 5-year Cohort - Bellevue School District Geographic Area -
U. S. Census American Community Survey - 1yr



現在の未就学児は人口の4.5%であり、5～9歳の子供は6.2%、10～14歳の子供は6.1%です。このデータは、2022年10月からの以下のグラフの 学年レベルのコホートデータと一致しています。



ベルビュー学区には、8年生から12年生までの各学年に1600人近くの生徒がいますが、6年生と7年生の生徒は各学年わずか1400人で、4年生と5年生では1300人に減少し、K-3年生ではさらに1200人以下に減少しています。1600人生徒がいる学年が卒業し、1100～1200人の生徒しかキンダーガーデンに入らないため、学区の生徒数は年々少なくなります。今後数年で出生率が上昇し始めても、キンダーガーデンの登録人数に影響が出るまでにはあと5年かかります。

登録人数が減少し続ける中、BSDは2031年までに登録人数は16,000人未満になると予想しています。2018年には、学区の学校は収容能力の平均83%が使用されていました。学校の目標収容使用率は85~90%であり、通学地域を調整することなく、人口増加とプログラムの配置の余地を残しています。この登録人数の減少により、現在の平均収容使用率は75%に低下し、4つの教室に1つが意図した目的で使用されていないことを意味します。小学校レベルでは、平均使用率は67%であり、3教室に1教室が本来の目的で使用されていません。2031年までに、学区の平均使用率は67%に達するでしょう。このデータに基づいて、新しい施設の建設は一時停止されています。

登録人数の減少に対処するために検討された戦略

登録人数の減少は、施設の利用、小規模な学校での生徒一人当たりのコストの上昇、収入の減少など、学区にさまざまな影響を与えます。これらの影響に対処するための戦略には、小規模な学校での支出とサービスの削減、学校の統合、革新的なプログラムの作成、コストの削減が含まれます。学校統合を計画しなければならないときに様子見のアプローチをしたり、現実を見ないような態度をとることは、生徒を持つ家族が私立学校、ホームスクール、または近くの他学区に行くというようなBSD以外の教育を選択するため、予算削減、サービスの喪失、教育の質の低下、およびさらなる登録人数の減少の下向きのスパイラルにつながる可能性があります。

BSDは、登録人数に合わせて開校する小学校の数を最適化し、学区外に住む生徒のオープントランスファーの機会を拡大し、革新的なプログラムを開発して提供し、的を絞った支出の削減をして、登録人数の減少に対処しようとしています。

1月の小学校登録人数は7,473人でした。小学校の目標サイズは、1校につき、少なくとも500人の生徒で、学年ごとに3~4教室です。BSDの平均的な小学校は620人の生徒が収容できるように建てられています。現在の登録人数では、現在の18の小学校ではなく14の小学校で十分です。推奨された提言は、他の変更が考慮されない場合、生徒登録人数を失い続けると予測されるため、18の小学校のうち3つの学校を統合することです。

革新的な新しいプログラム、オープントランスファー戦略、および支出削減に関する追加情報が近日公開されます。

統合された建物の潜在的な用途

学区は、ジンメイ、ビッグピクチャースクール、インターナショナルスクールの**新築**に必要な資金を得るための債券をまだ発行していません。納税者はこれらの施設の建設に お金を払っていません。追加の納税者資金で新しい学校を建設するのではなく、**学区**はこれらのニーズを満たすために必要な**収容能力**を活用することを計画しています。BSDは、近い将来、これらのニーズを満たすために統合された学校施設を使用**できるかどうか**を**査定**します。

BSDの登録**人数減少**に関するより多くの情報と 他のソースからの情報 については、以下のリンクを参照してください。

[2022年10月6日 人口統計学者の教育委員会へのプレゼンテーション](#)

[2022年12月8日 すべてのスタッフとコミュニティのための将来の計画のプレゼンテーション](#)

[2023年1月12日 学校統合に関する教育委員会へのプレゼンテーション](#)

[2023年1月20日 登録**人数**の減少 の影響](#)

[学校閉鎖に関するK-12ダイブ記事](#)

クリティカルクライテリア メトリックス

クリティカルクライテリアレ

ビュー-別紙A

Procedure 0130P-公平性と説明

責任

クリティカルクライテリアレビュー				
名前(プログラム/イニシアチブ/ポリシー)登録人数の課題:学校統合の推奨事項		このプログラム/イニシアチブ/ポリシーの 本来の意図または目的は何ですか?		
<p>潜在的な影響とリスク</p> <p>このプログラム/イニシアチブ/ポリシーは、以下の各グループにどのような利益をもたらし、害を及ぼしますか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の幸福と公平な学習の機会と経験を考慮してください。 教育的正義から最も遠い生徒の歴史と現在の現実を考えてみてください。有色人種の生徒、多言語学習者、障害のある生徒、アドバンスラーニングの生徒、無料/割引ランチを受け取る学生、LGBTQ+として識別される生徒などへの影響を検討してください。 学校統合が教育的正義から最も遠い学生 のニーズをどのようにサポート、高め、中心におき、意図しない結果を回避できるかを検討してください。 これが歴史的に排除されてきた生徒たちの機会とアクセスをどのように促進するかを考えてください。これはすべての学生に公平にどのような利益をもたらしますか? 意図的な影響と意図的でない影響の両方を考慮してください。 		<p>利害関係者の関与</p> <p>プログラム/ポリシー/イニシアチブの計画、設計、履行、およびサポートに各利害関係者グループをどのように関与させますか?この学校統合が成功し、完全にアクセスできるようにするには、どのようなエンゲージメント、理解、関与、コミュニケーション、トレーニング/専門能力開発が必要ですか?影響を受ける利害関係者グループと一緒に計画することを忘れないでください。</p>	<p>リスクの軽減</p> <p>潜在的な影響/リスクをどのように軽減しますか?軽減戦略は、発生するリスクを最小限に抑え、発生した場合は影響を軽減するために行うことです。目的を妨げるものを軽減するだけでなく、発生する可能性のある意図しない結果にも対処してください。</p>	<p>進行状況のモニタリング</p> <p>潜在的な影響/リスクに対処し、潜在的な悪影響を最小化または回避したことをどのように確認しますか?</p> <ul style="list-style-type: none"> モニタリングすることができる測定可能な結果を特定します。 進行状況のモニタリングのタイムラインを含めます。 年間目標の進行状況モニタリングと統合する方法を検討します。
	利益	害		

<p>生徒</p>	<ul style="list-style-type: none"> -新しい友情の機会 -登録人数が多いほど、追加のサポートスタッフが生まれます -クラスサイズの安定性の向上 -より強固なプログラムの提供 -リソースを最大化して、最大限の教育体験を保証します -教育プログラムの長期的な継続性を提供します -成長感と新しい機会 	<ul style="list-style-type: none"> -一部の生徒の移動距離/時間の増加 -確立された関係は変わる可能性があります -学校統合の実施は変更される場合があります -登録人数の低い学校にとって学校統合/機会へのフルアクセスは、危険にさらされています -変更が難しい生徒には影響があります -喪失感(学校/コミュニティなど) 	<ul style="list-style-type: none"> -一般的な学生フォーカスグループ -特定の学生フォーカスグループ 	<ul style="list-style-type: none"> -スクールバスの提供 -統合した学校での意図的なコミュニティ構築 -近接性などに基づく意図的な学校の配置。 	<p>パノラマ調査は、生徒の幸福度が高いことを示しています</p>
-----------	---	---	---	---	-----------------------------------

	利益	害	ステークホルダーの関与	リスクの軽減	進行状況の監視
<p>家族</p>	<ul style="list-style-type: none"> -より強固なプログラムの提供 -学年合同クラスの可能性が少ない -登録人数が多いほど、追加のサポートスタッフが生まれます 	<ul style="list-style-type: none"> -一部の家族の通勤時間の増加 -確立された関係は変わる可能性があります -学校統合の実施は変更される場合があります -チャイルドケアへのアクセスが制限される可能性があります -家族や仕事のスケジュールが乱れる可能性があります -喪失感(学校/コミュニティなど) -パンデミック直後の大きな変化 	<ul style="list-style-type: none"> -多数の家族のmオープンハウスへの参加 -コミュニティヒアリング -パブリックコメント -Let's Talk -特定家族(及びプログラム)とのミーティング -Email 	<ul style="list-style-type: none"> -オープンハウスからのフィードバックを提言開発に意図的に取り入れる -履行する際の課題に対する解決策を共同で構築する機会 -優先的なオープンエンrollment -統合した学校での意図的なコミュニティ構築 	<p>家族エンゲージメントサーベイは、情報が提供され、サポートされ、権限を与えられていると感じている家族が多いことを示しています</p>
<p>教育者とスタッフ</p>	<ul style="list-style-type: none"> -より多くの人員/ポジションを維持する(レイオフを避ける) -クラスサイズのバリエーションが狭い -解雇ではなく離職による削減により、教師の多様性に影響を与える可能性が低い 	<ul style="list-style-type: none"> -通勤時間増加の可能性 -確立された関係は変わる可能性があります -スタッフが本意に異動させられる可能性があります -一部のポジションは削除されます -再雇用される最初の教師は少なくなります 	<ul style="list-style-type: none"> -提言の前後の影響を受けるスタッフとの会議 -影響を受けるすべてのスタッフの労働組合指導者との継続的な会議とコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> -CBA保護 -労働組合との協働 	<ul style="list-style-type: none"> -スタッフエンゲージメントサーベイは、スタッフのエンゲージメント、満足度、エンパワメントのレベルが高いことを示しています -人員レベルの実際の削減をモニターする -継続雇用のデータをモニターする

隣人とコミュニティメンバー	支払い能力がありで安定した学区は、近隣とコミュニティ全体に利益をもたらします	人々は近所の学校との歴史を持っています: -喪失感 -パンデミック直後の大きな変化	-オープンハウス -コミュニティヒアリング -パブリックコメント -Let's Talk ・特定家族(及びプログラム)とのミーティング -Email	-明確なコミュニケーション -透明性 -コミュニティとのエンゲージメント	
システム	-学校の再利用/新しいプログラムの作成の機会 -未使用の債券による納税者の負担を軽減 -非居住者の生徒を登録する能力 -コスト効率 -支払い能力がある	混乱/苦痛 -信頼/信頼の喪失の可能性 -コミュニティサポートの減少の可能性 -喪失感		-明確なコミュニケーション -透明性 -コミュニティとエンゲージしてゆく -移行プロセス	-年間予算コストセンター(人員配置など)が削減されます -準備金口座に保有されている資金は維持されます
リフレクション このクリティカルライテリアレビューをすることから学んだことに基づいて、どのような改訂または変更が加えられましたか? 関連する主要な問題を見逃さないように、履行計画とモニタリング計画はどのように調整されましたか?					
-統合が推奨されている 学校コミュニティのために、主流から取り残された家族の視点を確保するための意図的にフォーカスしてゆく -学校コミュニティと協力して解決策を共同で作成し、履行する上での課題に対処する					

最終 020921

学校 データ

北部地域:アードモア、ベネット、チェリークレスト、シャードフォレスト

アードモア

現在の在籍 K-5 (1/31/23)

アードモア登録K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	284	100.0%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	2	0.7%
アジア人	85	29.9%
黒人/アフリカ系アメリカ人	30	10.6%
ヒスパニック	69	24.3%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	2	0.7%
2人種またはそれ以上	32	11.3%
白人	64	22.5%
多言語学習者	122	43.0%
特殊支援教育	35	12.3%
無料&割引ランチ	118	41.5%

現在の在籍 K-4 (1/31/23)

アードモア登録K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	244	100.0%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	2	0.8%
アジア人	75	30.7%
黒人/アフリカ系アメリカ人	27	11.1%
ヒスパニック	52	21.3%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	2	0.8%
2人種またはそれ以上	29	11.9%
白人	57	23.4%
多言語学習者	107	43.9%
特殊支援教育	30	12.3%
無料&割引ランチ	100	41.0%

現在 (1/31/23) および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

アードモア登録K-5			
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)	調整予測*
K	53	52	13
1	53	49	43
2	53	52	42
3	33	57	38
4	52	27	20
5	40	56	49
トータル	284	293	205

*オープントランスファーリクエストのネット予測。

ベネット

現在の登録K-5(1/31/23)

現在の登録K-4(1/31/23)

現在 (1/31/23) および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

ベネット登録K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	433	100.0%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	3	0.7%
アジア人	190	43.9%
黒人/アフリカ系アメリカ人	9	2.1%
ヒスパニック	28	6.5%
2人種またはそれ以上	55	12.7%
白人	148	34.2%
多言語学習者	92	21.2%
特別支援教育	50	11.5%
無料&割引ランチ	29	6.7%
アドバンストラaining	28	6.5%

ベネット登録K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	372	100.0%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	1	0.3%
アジア人	174	46.8%
黒人/アフリカ系アメリカ人	8	2.2%
ヒスパニック	25	6.7%
2人種またはそれ以上	44	11.8%
白人	120	32.3%
多言語学習者	85	22.8%
特別支援教育	39	10.5%
無料&割引ランチ	23	6.2%
アドバンストラaining	21	5.6%

ベネット登録K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	80	77
1	79	97
2	87	80
3	71	86
4	54	70
5	61	57
トータル	432	467

チェリークレスト

現在の登録K-5(1/31/23)

チェリークレスト登録K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	512	100.0%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	1	0.2%
アジア人	332	64.8%
黒人/アフリカ系アメリカ人	6	1.2%
ヒスパニック	9	1.8%
2人種またはそれ以上	41	8.0%
白人	123	24.0%
多言語学習者	51	10.0%
特別支援教育	19	3.7%
無料&割引ランチ	18	3.5%
アドバンストラaining	212	41.4%

現在の登録K-4(1/31/23)

チェリークレスト登録K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	395	100.0%
アジア人	254	64.3%
黒人/アフリカ系アメリカ人	5	1.3%
ヒスパニック	8	2.0%
2人種またはそれ以上	33	8.4%
白人	94	23.8%
多言語学習者	49	12.4%
特別支援教育	14	3.5%
無料&割引ランチ	14	3.5%
アドバンストラaining	134	33.9%

現在 (1/31/23) および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

チェリークレスト登録K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	61	62
1	74	71
2	68	80
3	90	90
4	102	103
5	117	117
トータル	512	523

シャーウッドフォレスト

現在の在籍 K-5 (1/31/23)

シャーウッドフォレスト登録K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	347	100%
アジア人	58	16.6%
黒人/アフリカ系アメリカ人	41	11.7%
ヒスパニック	131	38.1%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	3	0.9%
2人種またはそれ以上	25	7.2%
白人	89	25.5%
多言語学習者	157	45.0%
特別支援教育	71	20.3%
無料&割引ランチ	181	51.9%
二言語スペイン語	123	35.5%
アドバンストラaining	13	3.7%

現在の在籍 K-4 (1/31/23)

シャーウッドフォレスト登録K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	287	100%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	0	0%
アジア人	49	17.1%
黒人/アフリカ系アメリカ人	34	11.8%
ヒスパニック	106	36.9%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	2	0.7%
2人種またはそれ以上	21	7.2%
白人	75	26.1%
多言語学習者	130	45.3%
特別支援教育	66	32.0%
無料&割引ランチ	147	51.2%
アドバンストラaining	7	2.4%

現在 (1/31/23) および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

シャーウッドフォレスト登録K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	55	53
1	59	50
2	58	53
3	53	54
4	62	46
5	62	64
トータル	349	320

中西部地域:クライドヒル、エナタイ、ウィルバートン、ウッドリッジ

クライドヒル

現在の登録K-5(1/31/23)現在の登録

クライドヒル登録K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	412	100%
アジア人	208	50.5%
黒人/アフリカ系アメリカ人	16	3.9%
ヒスパニック	34	8.3%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	2	0.5%
2人種またはそれ以上	31	7.5%
白人	121	29.4%
多言語学習者	104	25.2%
特別支援教育	26	6.3%
無料&割引ランチ	51	12.4%
アドバンストラージング	32	7.8%

K-4(1/31/23)

クライドヒル登録K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	343	100.0%
アジア人	180	52.5%
黒人/アフリカ系アメリカ人	14	4.1%
ヒスパニック	28	8.2%
2人種またはそれ以上	25	7.3%
白人	95	27.7%
多言語学習者	91	26.5%
特別支援教育	23	6.7%
無料&割引ランチ	44	12.8%
アドバンストラージング	21	6.1%

現在 (1/31/23) および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

クライドヒル登録K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	67	70
1	68	71
2	73	56
3	68	62
4	67	55
5	69	56
トータル	412	370

エナ
タイ

現在の登録K-5(1/31/23)

現在の登録K-4(1/31/23)

現在 (1/31/23) および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

エナタイ入学K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	366	100%
アジア人	108	29.5%
黒人/アフリカ系アメリカ人	16	4.4%
ヒスパニック	47	12.8%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	1	0.3%
2人種またはそれ以上	55	15.0%
白人	139	38.0%
多言語学習者	73	19.9%
特別支援教育	37	10.1%
無料&割引ランチ	67	18.3%
アドバンストラaining	22	6.0%

エナタイ入学K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	304	100%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	0	0.0%
アジア人	87	28.6%
黒人/アフリカ系アメリカ人	13	4.3%
ヒスパニック	38	12.5%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	1	0.3%
2人種またはそれ以上	45	14.8%
白人	120	39.5%
多言語学習者	67	22.0%
特別支援教育	32	10.5%
無料&割引ランチ	52	17.1%
アドバンストラaining	15	4.9%

エナタイ入学K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	51	50
1	64	56
2	59	54
3	67	53
4	63	59
5	62	64
トータル	366	337

ウィルバートン

現在の登録K-5(1/31/23)

ウィルバートン登録K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	366	100%
アジア人	156	42.6%
黒人/アフリカ系アメリカ人	21	5.7%
ヒスパニック	54	14.8%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	2	0.5%
2人種またはそれ以上	35	9.6%
白人	97	26.5%
多言語学習者	123	33.6%
特別支援教育	32	8.7%
無料&割引ランチ	94	25.7%
アドバンストラaining	18	4.9%

現在の登録K-4(1/31/23)

ウィルバートン登録K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	313	100%
アメリカンインディアン/アラスカ先住民	1	0.3%
アジア人	128	40.9%
黒人/アフリカ系アメリカ人	17	5.4%
ヒスパニック	46	14.7%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	2	0.6%
2人種またはそれ以上	30	9.6%
白人	89	28.4%
多言語学習者	106	33.9%
特別支援教育	28	8.9%
無料&割引ランチ	81	25.9%
アドバンストラaining	16	5.1%

現在(1/31/23)および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

ウィルバートン登録K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	46	44
1	71	45
2	78	73
3	67	65
4	51	53
5	53	53
トータル	366	334

ウッドリッジ

現在の在籍K-5(1/31/23)

ウッドリッジ登録K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	318	100%
アジア人	133	41.8%
黒人/アフリカ系アメリカ人	10	3.1%
ヒスパニック	29	9.1%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	1	0.3%
2人種またはそれ以上	34	10.7%
白人	111	34.9%
多言語学習者	69	21.7%
特別支援教育	44	13.8%
無料&割引ランチ	72	22.6%
アドバンストラaining	24	7.5%

現在の在籍K-4(1/31/23)

ウッドリッジ登録K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全学生	255	100%
アメリカンインディアン/アラスカ先住民	0	0.0%
アジア人	104	40.8%
黒人/アフリカ系アメリカ人	6	2.4%
ヒスパニック	24	9.4%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	1	0.4%
2人種またはそれ以上	25	9.8%
白人	95	37.3%
多言語学習者	64	25.1%
特別支援教育	28	11.0%
無料&割引ランチ	53	20.8%
アドバンストラaining	17	6.7%

現在(1/31/23)および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

ウッドリッジ登録K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	58	52
1	49	50
2	45	38
3	42	41
4	61	38
5	53	50
トータル	318	269

南部地域:イーストゲート、ニューポートハイツ、ファントムレイク、サマセット、スピリットリッジ

イーストゲート

現在の登録K-5(1/31/23)

イーストゲート登録K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	288	100%
アジア人	117	40.6%
黒人/アフリカ系アメリカ人	10	3.5%
ヒスパニック	26	9.0%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	0	0.0%
2人種またはそれ以上	48	16.7%
白人	87	30.2%
多言語学習者	63	21.9%
特別支援教育	47	16.3%
無料&割引ランチ	41	16.3%
アドバンストラナーニング	14	4.9%

現在の登録K-4(1/31/23)

イーストゲート登録K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	229	100%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	99	43.2%
アジア人	93	40.6%
黒人/アフリカ系アメリカ人	9	3.9%
ヒスパニック	19	8.3%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	0	0.0%
2人種またはそれ以上	39	17.0%
白人	69	30.1%
多言語学習者	61	26.6%
特別支援教育	38	16.6%
無料&割引ランチ	32	14.0%
アドバンストラナーニング	8	3.5%

現在 (1/31/23) および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

イーストゲート登録K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	31	30
1	56	42
2	47	48
3	45	45
4	50	40
5	59	53
トータル	288	258

ニューポートハイツ

現在の登録K-5(1/31/23)

現在の登録K-4(1/31/23)

現在 (1/31/23) および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

ニューポートハイツ登録K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	387	100.0%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	3	0.8%
アジア人	166	42.9%
黒人/アフリカ系アメリカ人	19	4.9%
ヒスパニック	32	8.3%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	3	0.8%
2人種またはそれ以上	50	12.9%
白人	114	29.5%
多言語学習者	85	22.0%
特別支援教育	47	12.1%
無料&割引ランチ	84	21.7%
アドバンスラーニング	25	6.5%

ニューポートハイツ登録K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	313	100.0%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	2	0.6%
アジア人	130	41.5%
黒人/アフリカ系アメリカ人	17	5.4%
ヒスパニック	28	8.9%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	3	0.0%
2人種またはそれ以上	41	13.1%
白人	92	29.4%
多言語学習者	79	25.2%
特別支援教育	37	11.8%
無料&割引ランチ	75	24.0%
アドバンスラーニング	10	3.20%

ニューポートハイツ登録K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	60	55
1	58	65
2	74	51
3	58	73
4	63	54
5	74	60
トータル	387	358

ファントムレイク

現在の登録K-5(1/31/23)

ファントムレイク登録K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	346	100%
アジア人	97	28.0%
黒人/アフリカ系アメリカ人	16	4.6%
ヒスパニック	46	13.3%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	0	0.0%
2人種またはそれ以上	45	13.0%
白人	141	40.8%
多言語学習者	88	25.4%
特別支援教育	37	10.7%
無料&割引ランチ	91	26.3%
アドバンストラaining	20	5.8%

現在の登録K-4(1/31/23)

ファントムレイク登録K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	287	100%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	1	0.3%
アジア人	82	28.6%
黒人/アフリカ系アメリカ人	11	3.8%
ヒスパニック	42	14.6%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	0	0.0%
2人種またはそれ以上	35	12.2%
白人	116	40.4%
多言語学習者	79	27.5%
特別支援教育	32	11.1%
無料&割引ランチ	80	27.9%
アドバンストラaining	12	4.2%

現在(1/31/23)および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

ファントムレイク登録K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	54	56
1	67	55
2	45	63
3	59	45
4	62	59
5	59	63
トータル	346	342

サマセット

現在の在籍 K-5 (1/31/23)

入学K-5(1/31/23)		
学生サブグループ	#生徒	比率
全学生	639	100%
アジア人	459	71.8%
黒人/アフリカ系アメリカ人	7	1.1%
ヒスパニック	29	4.5%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	1	0.2%
2人種またはそれ以上	58	9.1%
白人	85	13.3%
多言語学習者	127	19.9%
特別支援教育	38	5.9%
無料&割引ランチ	39	6.1%
アドバンストラaining	208	32.6%

現在の在籍 K-4 (1/31/23)

入学K-4(1/31/23)		
学生サブグループ	#生徒	比率
全学生	533	100.0%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	0	0.0%
アジア人	386	72.4%
黒人/アフリカ系アメリカ人	7	1.3%
ヒスパニック	22	4.1%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	1	0.2%
2人種またはそれ以上	45	8.4%
白人	72	13.5%
多言語学習者	120	22.5%
特別支援教育	28	5.3%
無料&割引ランチ	26	4.9%
アドバンストラaining	156	29.3%

現在(1/31/23)および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

入学K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	93	82
1	88	106
2	117	106
3	107	116
4	128	113
5	106	128
トータル	639	651

スピリットリッジ

現在の在籍 K-5 (1/31/23)

入学K-5(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	581	100%
アジア人	287	51.1%
黒人/アフリカ系アメリカ人	23	4.0%
ヒスパニック	49	8.4%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	0	0.0%
2人種またはそれ以上	60	10.3%
白人	152	26.2%
多言語学習者	91	15.7%
特別支援教育	46	7.9%
無料&割引ランチ	71	12.2%
アドバンストラナーニング	230	39.6%

現在の在籍 K-4 (1/31/23)

入学K-4(1/31/23)		
生徒サブグループ	#生徒	比率
全生徒	456	100%
アメリカインディアン/アラスカ先住民	0	0.0%
アジア人	236	51.8%
黒人/アフリカ系アメリカ人	20	4.4%
ヒスパニック	40	8.8%
ハワイ先住民/太平洋諸島民	0	0.0%
2人種またはそれ以上	47	10.3%
白人	113	24.8%
多言語学習者	84	18.4%
特別支援教育	37	8.1%
無料&割引ランチ	60	13.2%
アドバンストラナーニング	155	34.0%

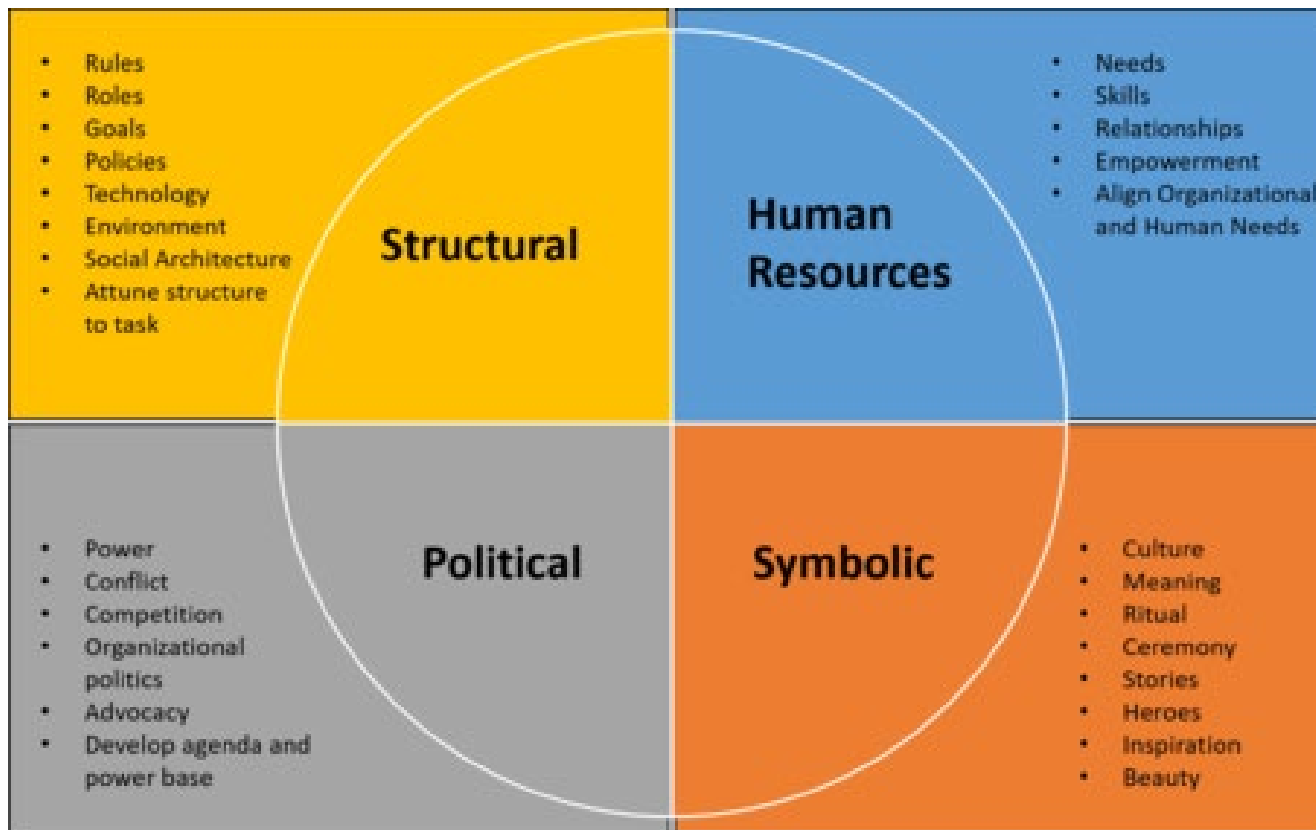
現在 (1/31/23) および
学年レベル別の登録予測(2023-24)

入学K-5		
学年レベル	現在の (1/31/23)	予測 (2023-24年度)
K	56	56
1	79	67
2	104	103
3	111	113
4	106	116
5	125	111
トータル	581	566

移行の計画

移行計画 ツールキット

Bolman & Deal Frameworkは、組織変革への明確なアプローチを提供します。このフレームワークは、組織シフトを計画する際に考慮すべき4つの主要な「フレーム」またはレンズを強調しています。このアプローチを使用すると、学校統合プロセスの一環として、学校とコミュニティのニーズのすべてのコンポーネントを完全に検討および計画することを学区として保証できます。移行計画は、影響を受ける学校のスタッフ、生徒、家族と共同で作成されます。影響を受ける各学校(生徒の送り出し校と受け入れ校)は移行計画チームを結成し、チームは移行プロセス全体を通じて協力することが奨励されます。



学校A移行計画

学校Aの移行のエグゼクティブサマリー

学校Aの移行のタイムラインの概要

	構造の移行	人材の移行	シンボルの移行	コミュニティの移行
	<p>エクイティ&インクルージョン優先</p> <p>施設のニーズ</p> <p>テクノロジーのニーズ</p> <p>カリキュラムのニーズ</p> <p>スクールバスのニーズ</p> <p>ランチサービスのニーズ</p> <p>チャイルドケアのニーズ</p> <p>特別プログラムのニーズ</p> <p>予算の組み合わせ</p> <p>学校全体のPBIS</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tier I SEL • Interventions <p>登校、下校、安全プロトコル、ランチなど。</p>	<p>エクイティ & インクルージョン 優先</p> <p>管理チームの構造</p> <ul style="list-style-type: none"> • BLT • REI <p>サーティファイドスタッフ構造 (HR セッション)</p> <p>BEA/PAC-Bパートナーシップ</p> <p>クラシファイド人員配置</p> <p>スタッフのコラボレーションと計画時間</p>	<p>エクイティ&インクルージョン優先</p> <p>マスコット</p> <p>学校名/お祝い</p> <p>スクールカラー</p> <p>歓迎活動</p> <ul style="list-style-type: none"> • ツアー • 遠足 <p>移行のお祝い</p> <p>移行をサポートするためのレッスンプラン</p> <p>ストーリーテリング</p> <p>学年末のお祝い:</p> <ul style="list-style-type: none"> • タイム カプセル • 学校の 写真 • アセンブリ <p>スクールスワッグ</p>	<p>エクイティ&インクルージョンの優先</p> <p>コミュニティパートナーのニーズ</p> <p>オープンエンrollmentに関する考慮事項</p> <p>継続的な家族エンゲージメント計画</p> <p>PTSA パートナーシップ</p> <p>利害関係者との継続的なコミュニケーション</p> <p>政府関係者とのコミュニケーション</p> <p>法的な考慮事項</p> <p>学校コミュニティイベントの始まり</p> <p>プリンシパルコーヒーとミート&グリート</p>

ツールキットリンク:[BSD学校統合移行計画テンプレート2023年2月.docx](#)

RCW
28A.335.020

[RCW 28A.335.020](#)

RCW 28A.335.020学校の閉鎖—市民参加のポリシーが必要—影響の概要—ヒアリング—通知。

学校が閉鎖される前に、学区の理事会は、教育目的で学校の閉鎖を検討する前に、市民の関与を規定する学校閉鎖に関する**ポリシー**を採択するものとします。採択された**ポリシー**には、提案された学校閉鎖の影響に関する分析を含む書面による要約を作成するための規定を含めるものとします。この**ポリシー**には、学校閉鎖に関する学校教育の最終決定の前の90日間に、教育委員会が、教育目的での学校の閉鎖に関連する問題について一般の人々から証言を受けるための**ヒアリング**を実施するという要件も含まれるものとします。ポリシーは、閉鎖が提案されている学校ごとに個別のヒアリングを必要とするものとします。

採択された**ポリシー**は、提案された学校閉鎖の影響を受ける住民に合理的な通知を提供するものとします。少なくとも、提案された学校閉鎖に関する**ヒアリング**の通知には、**ヒアリング**の日時、場所、目的を含める必要があります。各**ヒアリング**の通知は、閉鎖の対象となる学校が所在する地域の一般流通新聞に、2週間連続で毎週1回掲載されるものとします。**ヒアリング**の最後の通知は、最終**ヒアリング**の直前の7日以内に公表されなければなりません。[1983 c 109 § 2.旧RCW 28A.58.031。

RCW 43.21C.030(2)(c)の学校閉鎖への適用:RCW 43.21C.038。

ポリシー 6883

施設の閉鎖

予期せぬ自然現象や機械的な故障により、施設が安全でなくなる、不健康になる、アクセス不能になる、または動作不能になった場合、理事会は校舎を閉鎖する権限を持っています。

予見される状況のために、学校施設の閉鎖前に、理事会は以下の問題を考慮した書面による分析を準備します。

- A. 予測または実際の登録人数の減少と、それらが永続的であり続ける可能性。
- B. 処分または退職が他の施設および学区の教育プログラムの提供に与える影響。
- C. 新しい施設への交通費とスタッフの再配置を含む、学生とスタッフの移動。
- D. 改修の可能性；
- E. 人件費、運用および保守コスト、不動産の売却またはリースからの潜在的な収益、閉鎖および他の場所への事業移転のコストなどの要因に関する財務上の考慮事項。
- F. 安全、健康、火災の規制。そして
- G. 施設を他の目的に有効に利用できるかどうか。

書面による分析の作成後 90日間の間に、理事会は1回以上のヒアリングを実施し、学校の閉鎖に関連する問題について証言を受け取ります。各シアリング通知は、学校が所在する地域にサービスを提供する一般流通の新聞に、2週間連続で毎週1回発行されます。最後の通知は、ヒアリングの少なくとも7日前に公開されます。通知には、ヒアリングの日時、場所、目的が含まれます。利害関係者から受け取ったコメントは、助言目的でのみ使用されます。施設を閉鎖するか、営業を続けるかの最終決定は、理事会によって行われます。

法的参照:	RCW 28A.150.290(2) 28A.320.010 28A.335.020	州のスーパーインテント規則や規制を作成する— 予期しない状況または活動が認識される — 事務処理は限られています 企業の力 学校閉鎖 — 市民参加のポリシーが必要 — 影響の概要 — ヒアリング — 通知
-------	---	---

採用日:09.04.12
ベルビュー学区改訂:

